

この世界で。  
この街で。  
このじぶん。

**YMfg**

## 【お客さま本位の業務運営】

# 山口フィナンシャルグループにおける 取組状況 -2024年度-

2025.07.11

株式会社山口フィナンシャルグループ  
株式会社山口銀行  
株式会社もみじ銀行  
株式会社北九州銀行  
ワイエム証券株式会社  
株式会社YMFGグロースパートナーズ  
株式会社保険ひろば  
ワイエムアセットマネジメント株式会社

- 山口フィナンシャルグループは、金融庁が2017年3月に公表しました「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択し、グループ共通の指針となる「YMFGお客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）に関する取組方針」を定めています。
- グループ各社では、YMFGの「パーパス」、「ビジョン」の実現に向け、取組方針に基づく具体的なアクションプランと取組状況を年度ごとに策定・公表しています。
- また、フィデューシャリー・デューティーに関する各種定量指標（KPI）を定期的に検証してまいります。

パーパス

「地域の豊かな未来を共創する」

ビジョン

「地域に選ばれ、地域の信頼に応える、地域価値向上企業グループ」

## 取組方針（共通）

1. お客さま本位の徹底
2. お客さま本位の情報提供
3. お客さま本位のラインアップ
4. お客さま本位の管理態勢
5. 企業文化の定着

## アクションプラン（事業体別）

銀行	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ポートフォリオ提案の浸透</li> <li>② 商品ラインアップの整備</li> <li>③ 資産管理伴走体制の構築</li> <li>④ アフターフォロー体制および管理態勢の整備</li> <li>⑤ グループ連携力の強化</li> <li>⑥ 人財育成・評価体系の整備</li> <li>⑦ 金融リテラシー向上にかかる活動の実践</li> </ol>	YMFG グロース パートナーズ	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 助言サービスの提供</li> <li>② サービスラインアップの整備</li> <li>③ お客さまの資産メンテナンスの実施</li> <li>④ 管理態勢の整備</li> <li>⑤ 社員教育の徹底</li> </ol>
ワイエム証券	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ポートフォリオ提案の徹底</li> <li>② 商品ラインアップの充実</li> <li>③ 重点管理顧客への定期的な訪問活動の充実</li> <li>④ お客さまの属性に見合ったアフターフォローの実施および管理態勢の整備</li> <li>⑤ グループ連携力の活用</li> <li>⑥ 人財育成・評価体系の整備</li> </ol>	ワイエム アセット マネジメント	<ol style="list-style-type: none"> <li>① お客さま本位の徹底</li> <li>② お客さま本位の情報提供</li> <li>③ お客さま本位のラインアップ</li> <li>④ お客さま本位の管理態勢</li> <li>⑤ お客さま本位の徹底・企業文化の定着</li> </ol>
保険ひろば	<ol style="list-style-type: none"> <li>① コンサルティング提案の実施</li> <li>② 分かりやすい情報の提供</li> <li>③ ラインアップの整備</li> <li>④ 管理態勢の整備</li> <li>⑤ 社員教育の徹底</li> </ol>		

## 成果（共通KPI ※1）

- ① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率
- ② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン
- ③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率
- ④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン

## 成果（独自KPI）

- ① 投資信託・積立投信の契約者数
- ② 投資信託残高
- ③ NISA口座開設数
- ④ ワイエムアセットマネジメント運用資産残高推移
- ⑤ グループ会社の投資信託の販売比率
- ⑥ 毎月分配型投資信託の販売比率
- ⑦ FP資格保有率

# 共通KPI

---

お客さまの運用成果に関する共通KPIの内容

投資信託・外貨建保険の運用成果の状況として、以下4点の指標を掲載します。

① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率

基準日時点の保有投資信託およびファンドラップにかかる購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標でお客さまの運用損益がどのように分布しているかを確認することができます。

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン

設定後5年以上の銘柄について、加重平均のコストとリターンおよびリスクとリターンの関係を示した指標で、中長期的にどのようなコスト・リスク／リターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認することができます。

③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率

基準日時点の外貨建保険にかかる購入時以降のリターンを算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標で、お客さまの運用評価がどのように分布しているかを確認することができます。

④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン

契約後5年以上保有している契約について、加重平均のコストとリターンの関係を示した指標で、中長期的にどのようなコスト・リターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認することができます。

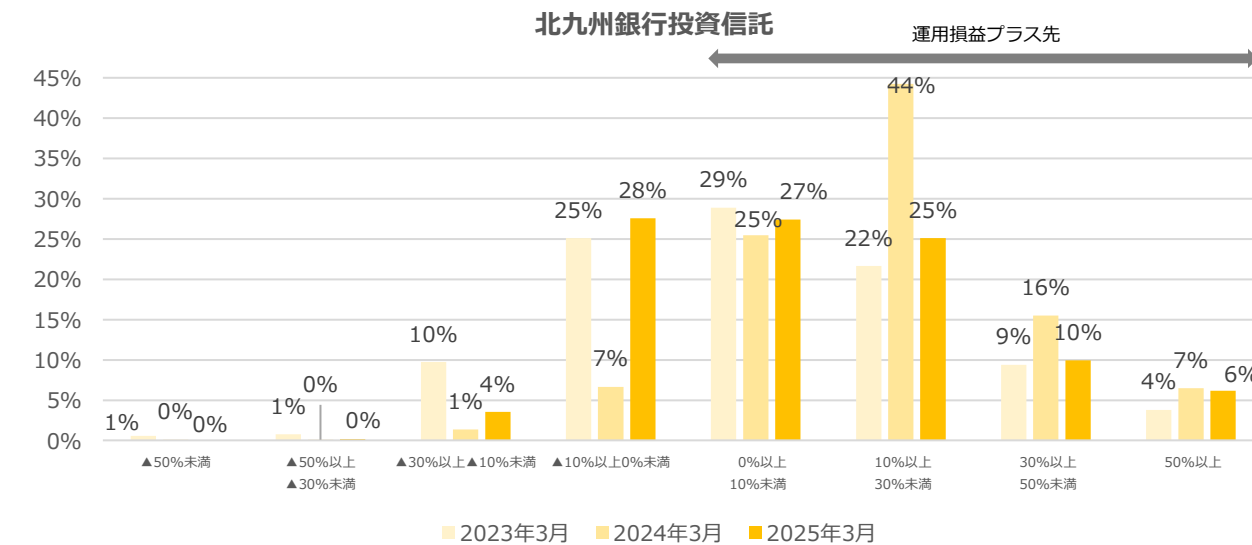
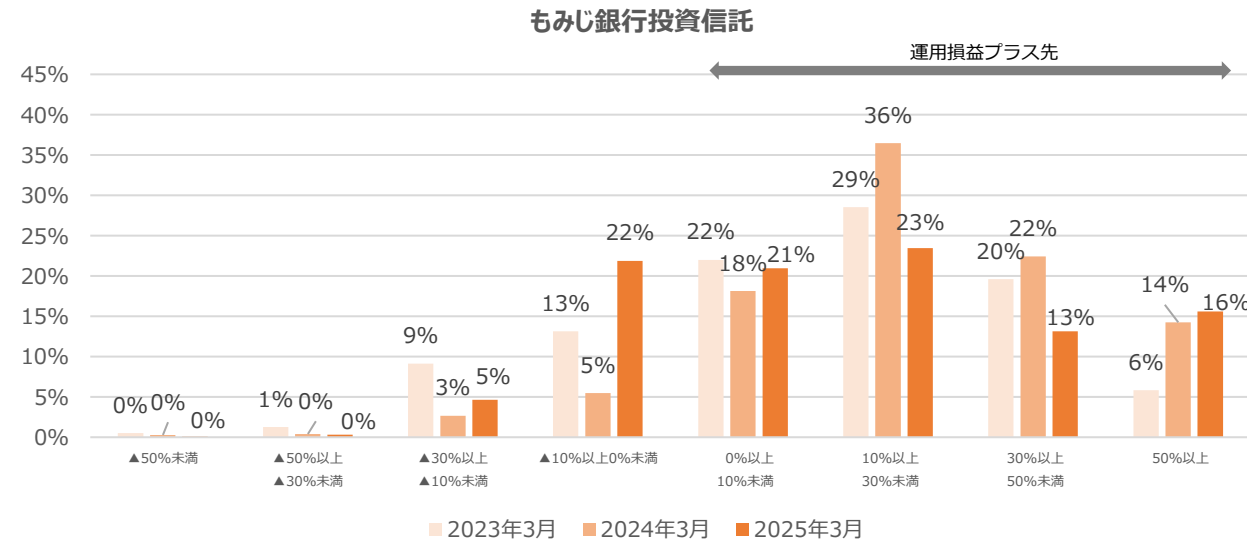
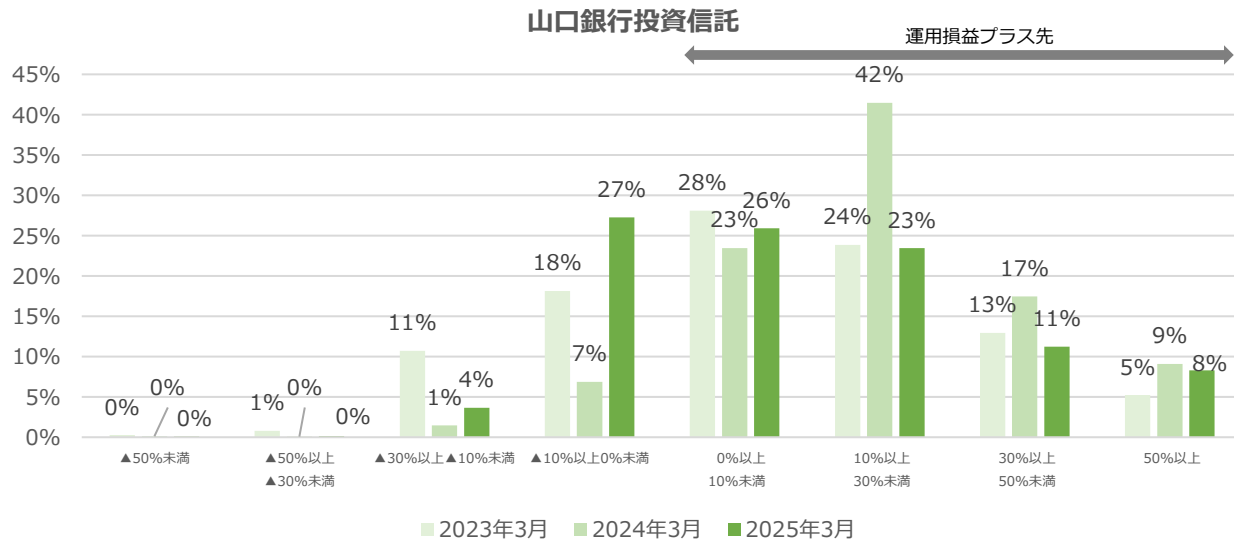
投資信託 関連指標	定義・算出方法	外貨建保険 関連指標	定義・算出方法
運用損益	基準日時点の評価金額 + 税引後累計受取分配金額 + 累計売付金額 - 累計買付金額（含む消費税込の販売手数料） ÷ 基準日時点の評価金額	運用評価	（基準日の解約返戻金額 + 基準日の既支払金額 - 契約時点の一時払保険料（いずれも円換算）） ÷ 契約時点の一時払保険料（円換算）
コスト	当該販売手数料上限の1/5と信託報酬率の合計値	コスト	基準日時点で5年以上保有している契約について、各契約の新契約手数料率と継続手数料率（累計支払）の合計値を契約期間（経過月数）で年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均した指標
リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）	リターン	基準日時点で5年以上保有している契約について、各契約の契約時点の一時払保険料に対する、基準日時点の解約返戻金額 + 基準日までの既支払金額の増加率を年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均した指標
リターン	過去5年間のトータルリターン（年率換算）		

# ①投資信託における運用損益別顧客比率\_3銀行

共通KPI



- 2024年度は期中に複数回の上昇・下落を繰り返す不安定な相場であったことや、相場上昇時に新規にお買付いただいたお客様の含み損が発生していることから、運用損益がマイナスとなったお客さまの割合が増加しました。
- 運用損益がプラスのお客さまは、山口銀行が68.9%（2024年3月末比▲22.6ポイント）、もみじ銀行が73.1%（同比▲18.2ポイント）、北九州銀行が68.6%（同比▲23.2ポイント）となっています。



【運用損益プラスのお客さま比率】（2023年3月末～2025年3月末）

	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2024年3月比
山口銀行	70.1%	91.5%	68.9%	▲22.6ポイント
もみじ銀行	76.0%	91.3%	73.1%	▲18.2ポイント
北九州銀行	63.8%	91.8%	68.6%	▲23.2ポイント

（参考）市場動向の推移（2023年3月末～2025年3月末）※終値

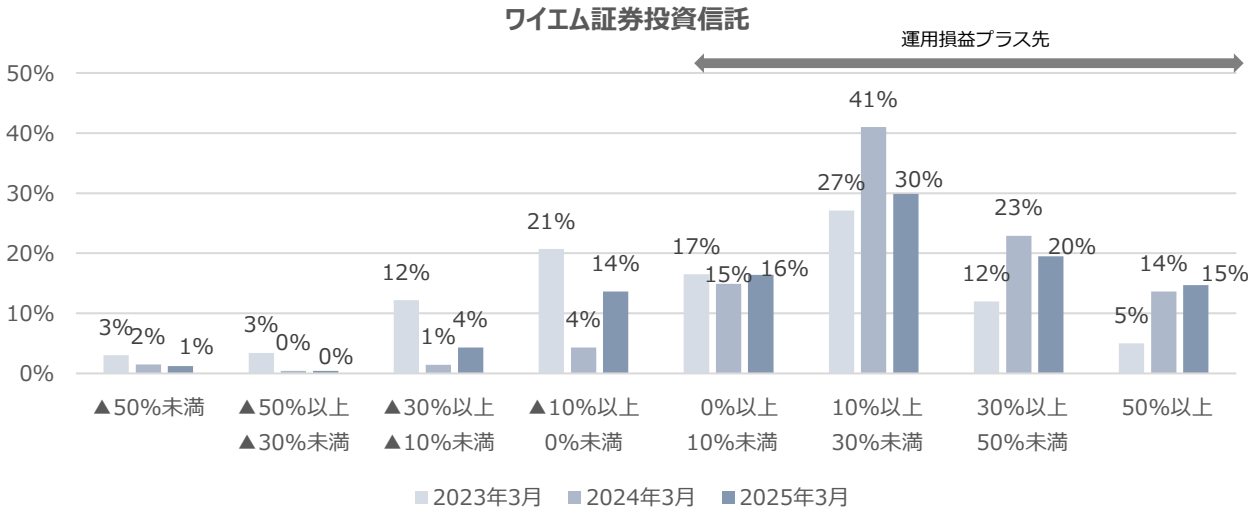
日経平均株価	28,041.48	40,369.44	35,617.56	▲11.8%
NYダウ	33,274.15	39,807.37	42,001.76	+5.5%
米ドル/円	132.79	151.31	149.95	▲0.9%

# ①投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率\_ワイエム証券

共通KPI

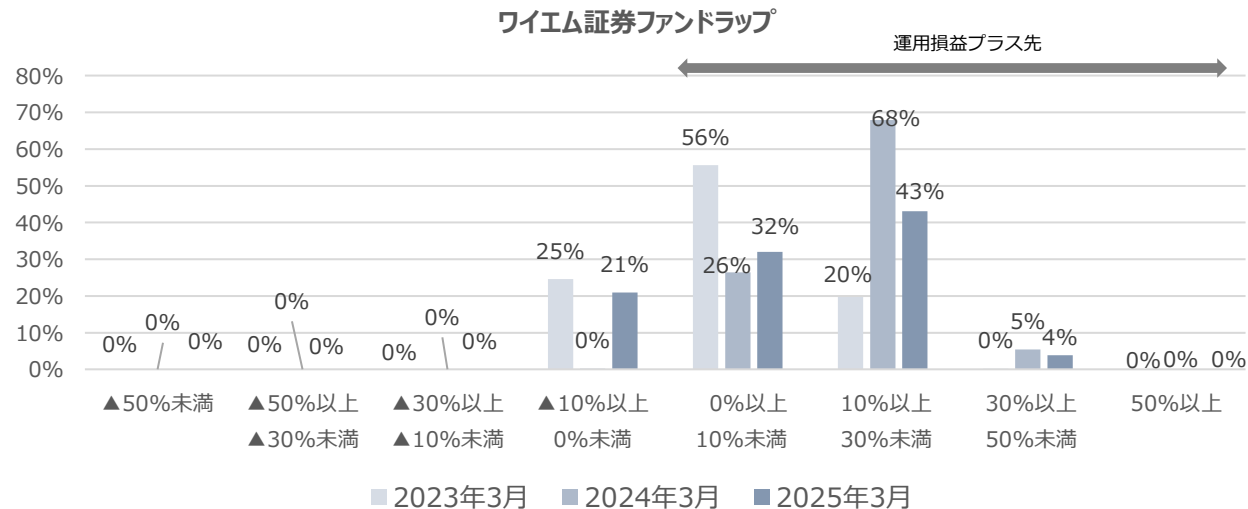


- 2024年度は期中に複数回の上昇・下落を繰り返す不安定な相場であったことや、相場上昇時に新規にお買付いただいたお客様の含み損が発生していることから、運用損益がマイナスとなったお客さまの割合が増加しました。
- ファンドラップについては、パフォーマンスの低下等も要因となり、マイナスのお客さまの割合が増加したと想定されます。
- 運用損益がプラスのお客さまは、投資信託が80.5%（2024年3月末比▲11.9ポイント）、ファンドラップが79.1%（同比▲20.7ポイント）となっています。



【運用損益プラスのお客さま比率】（2023年3月末～2025年3月末）

	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2024年3月比
ワイエム証券（投資信託）	60.6%	92.4%	80.5%	▲11.9ポイント



【運用損益プラスのお客さま比率】（2023年3月末～2025年3月末）

	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2024年3月比
ワイエム証券（ファンドラップ）	75.5%	99.8%	79.1%	▲20.7ポイント

（参考）市場動向の推移（2023年3月末～2025年3月末） ※終値

日経平均株価	28,041.48	40,369.44	35,617.56	▲11.8%
NYダウ	33,274.15	39,807.37	42,001.76	+5.5%
米ドル/円	132.79	151.31	149.95	▲0.9%

## ②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよび リスク・リターン\_山口銀行

共通KPI

この世界で。  
この街で。  
このじぶん。  
**YMfg**

- 2025年3月末時点での残高上位20銘柄のコスト・リターンは、コスト1.4%（2024年3月末比▲0.2ポイント）、リスク11.3%（同比▲0.9ポイント）に対してリターン12.1%（同比+4.4ポイント）となりました。
- コストの低いファンドの残高増加により、加重平均コストが減少したことに加え、海外株式を中心とした市場環境の改善を受け、全体のリスク・リターンは改善しました。

### 2025年3月末

順位	銘柄名	運用会社	カテゴリ	コスト	リターン	リスク
1	Y Mアセット・バランスファンド（成長）	ワイエムAM	バランス	1.5%	3.9%	7.5%
2	Y Mアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	海外株式	2.0%	23.6%	17.5%
3	Y Mアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	国内株式	1.8%	20.3%	12.3%
4	i F r e e S & P 5 0 0 インデックス	大和AM	海外株式	0.2%	25.3%	16.2%
5	杏の実（毎月分配型）	大和AM	海外債券	1.7%	6.4%	9.3%
6	グローバルソブリンオープン（毎月決算型）	三菱UFJAM	海外債券	1.7%	2.5%	6.4%
7	A B 米国成長株投信D（Hなし） 予想分配	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.4%	18.4%
8	フィデリティ・U S リート・ファンド B	フィデリティ	不動産	2.0%	16.5%	16.5%
9	Y Mアセット・バランスファンド（安定）	ワイエムAM	バランス	1.4%	-1.6%	6.4%
10	e M A X I S S I m 全世界株式	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	22.8%	14.2%
11	e M A X I S S I m 米国株式 S & P 5 0 0	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	25.5%	16.2%
12	A B 米国成長株投信B（為替ヘッジなし）	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.5%	18.5%
13	財産3分法ファンド（毎月分配型）	日興AM	バランス	1.5%	6.6%	7.7%
14	i F r e e 日経225インデックス	大和AM	国内株式	0.2%	15.4%	15.7%
15	i F r e e 外国株式インデックス/ヘッジ無	大和AM	海外株式	0.2%	24.2%	15.3%
16	ストックインデックスファンド225	大和AM	国内株式	0.7%	15.0%	15.6%
17	ダイワJ-REITオープン（毎月分配型）	大和AM	不動産	1.0%	4.7%	11.0%
18	グローバルハイインカムストックファンド	野村AM	海外株式	1.7%	20.5%	12.1%
19	ダイワ・ライフ・バランス50	大和AM	バランス	0.2%	9.0%	7.0%
20	i F r e e 8資産バランス	大和AM	バランス	0.2%	11.4%	8.1%
<b>残高加重平均値</b>				<b>1.4%</b>	<b>12.1%</b>	<b>11.3%</b>

※リスク・リターンについては、新規取扱ファンドの取引開始前より以前の基準価額及び分配金単価がシステム上過去に遡って遡及できないことから、ウエルスアドバイザー社の算出するリスクリターン（直近5年のリスク・リターン、2025年3月末時点）にて算出しております。

## ②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよび リスク・リターン散布図\_山口銀行

共通KPI

この世界で。  
この街で。  
このじぶん。

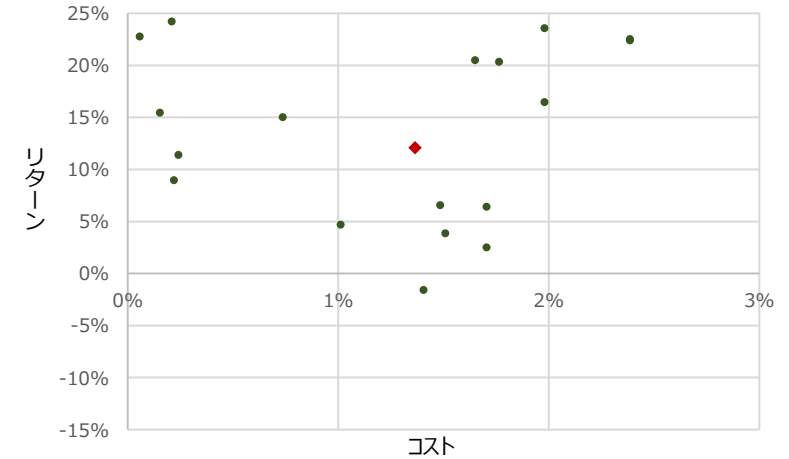
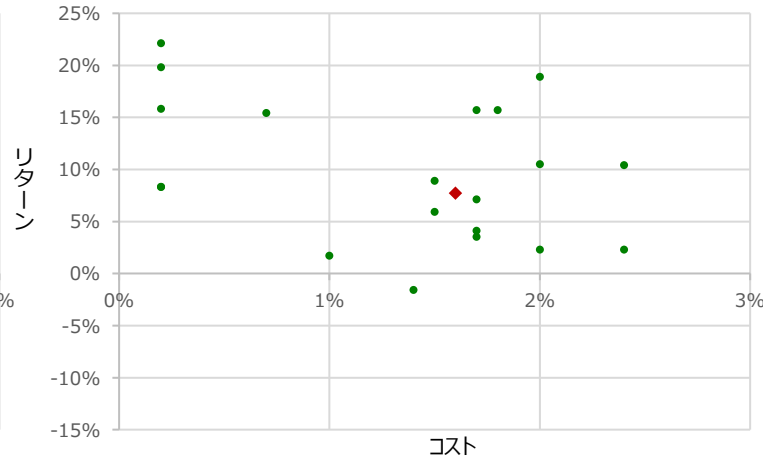
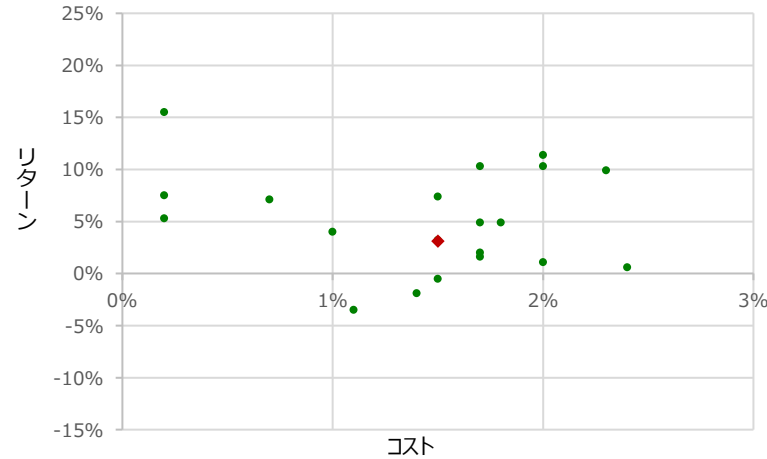
# YMfg

- 山口銀行における2023年3月末～2025年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
- 2023年3月末以降、日米株価の高値更新など好調な市場環境を背景に、加重平均リターンが改善しました。
- また、コストの低いファンドの残高が増加したことにより、加重平均コストが減少しています。 ※表内の◆は加重平均を表しています。

2023年3月末コスト・リターン

2024年3月末コスト・リターン

2025年3月末コスト・リターン

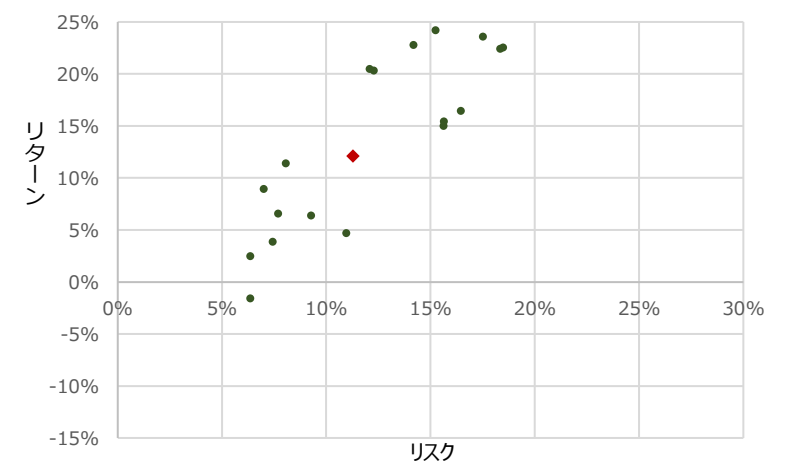
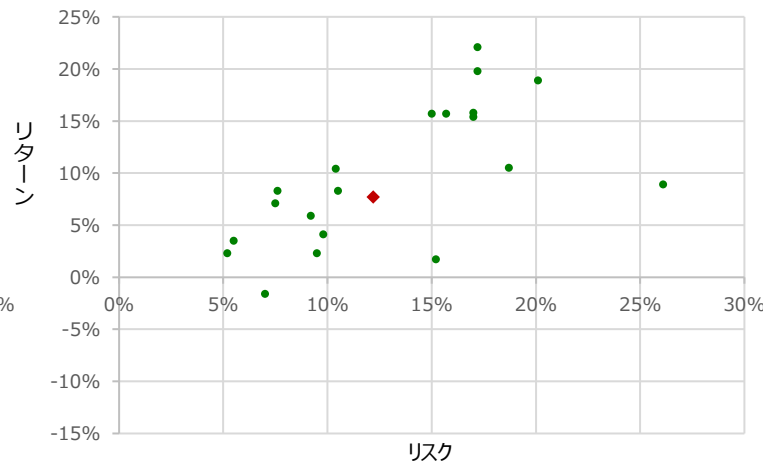
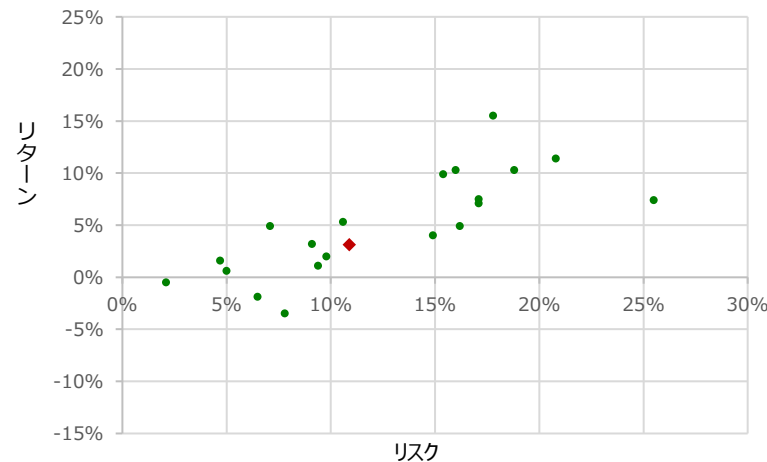


コスト・リターン

2023年3月末リスク・リターン

2024年3月末リスク・リターン

2025年3月末リスク・リターン



リスク・リターン

## ②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよび リスク・リターン\_もみじ銀行

共通KPI

この世界で。  
この街で。  
このじぶん。  
**YMfg**

- 2025年3月末時点での残高上位20銘柄のコスト・リターンは、コスト1.4%（2024年3月末比▲0.1ポイント）、リスク11.8%（同比▲1.2ポイント）に対して、リターン12.7%（同比+4.6%）となりました。
- コストの低いファンドの残高増加により、加重平均コストがやや減少したことに加え、海外株式を中心とした市場環境の改善をうけ、全体のリスク・リターンは改善しました。

### 2025年3月末

順位	銘柄名	運用会社	カテゴリ	コスト	リターン	リスク
1	YMアセット・バランスファンド（成長）	ワイエムAM	バランス	1.5%	3.9%	7.5%
2	フィデリティ・U Sリート・ファンド B	フィデリティ	不動産	2.0%	16.5%	16.5%
3	YMアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	国内株式	1.8%	20.3%	12.3%
4	YMアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	海外株式	2.0%	23.6%	17.5%
5	i F r e e S & P 5 0 0 インデックス	大和AM	海外株式	0.2%	25.3%	16.2%
6	インデックスファンド 2 2 5	日興AM	国内株式	0.8%	15.0%	15.6%
7	A B 米国成長株投信 D（Hなし） 予想分配	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.4%	18.4%
8	財産 3 分法ファンド（毎月分配型）	日興AM	バランス	1.5%	6.6%	7.7%
9	ピクテグローバルインカム株式 毎月分配型	ピクテ	海外株式	2.3%	13.8%	13.0%
10	杏の実（毎月分配型）	大和AM	海外債券	1.7%	6.4%	9.3%
11	M H A M J - R E I T インデックス 毎月	AMONE	不動産	0.9%	4.8%	10.9%
12	i F r e e 日経 2 2 5 インデックス	大和AM	国内株式	0.2%	15.4%	15.7%
13	e M A X I S S I m 全世界株式	三菱UFJAM	海外株式	0.0%	22.8%	14.2%
14	e M A X I S S I m 米国株式 S & P 5 0 0	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	25.5%	16.2%
15	A B 米国成長株投信 B（為替ヘッジなし）	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.5%	18.5%
16	セッション（毎月分配型）	野村AM	バランス	1.7%	7.9%	7.3%
17	トレンド・アロケーション・オープン	三菱UFJAM	バランス	1.6%	-0.2%	5.6%
18	i F r e e 外国株式インデックス/ヘッジ無	大和AM	海外株式	0.2%	24.2%	15.3%
19	i F r e e 8 資産バランス	大和AM	バランス	0.2%	11.4%	8.1%
20	メイフラワー号	フランクリン・templton	海外債券	1.8%	5.0%	7.4%
<b>残高加重平均値</b>				<b>1.4%</b>	<b>12.7%</b>	<b>11.8%</b>

※リスク・リターンについては、新規取扱ファンドの取引開始前より以前の基準価額及び分配金単価がシステム上過去に遡って遡及できないことから、ウエルスアドバイザー社の算出するリスクリターン（直近5年のリスク・リターン、2025年3月末時点）にて算出しております。

## ② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン散布図\_もみじ銀行

共通KPI

この世界で。  
この街で。  
このじぶん。

# YMfg

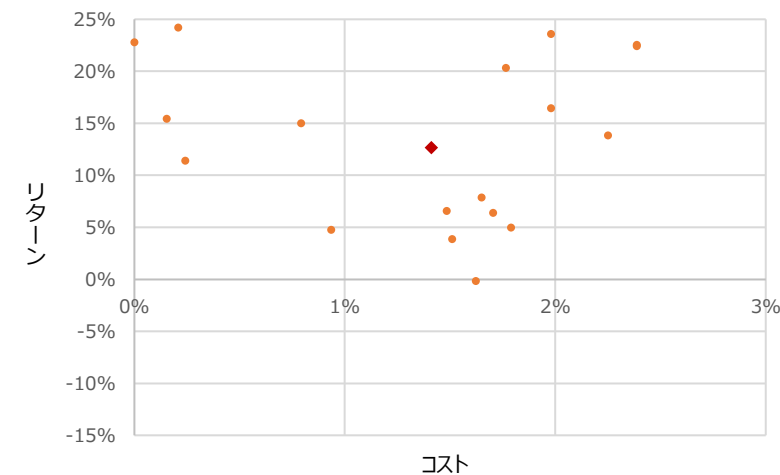
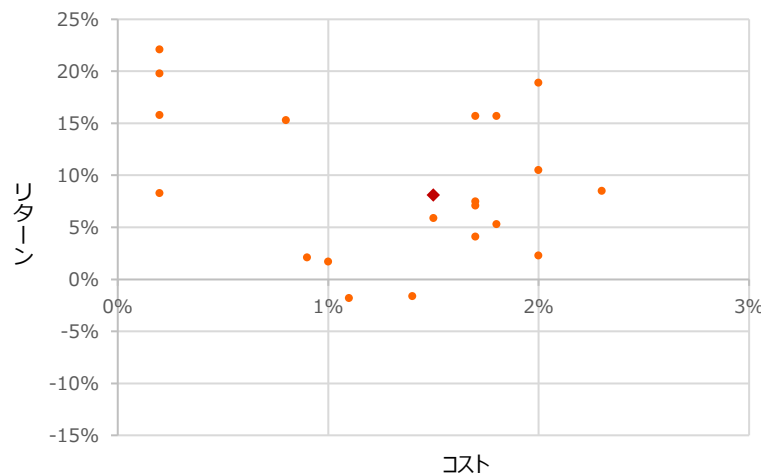
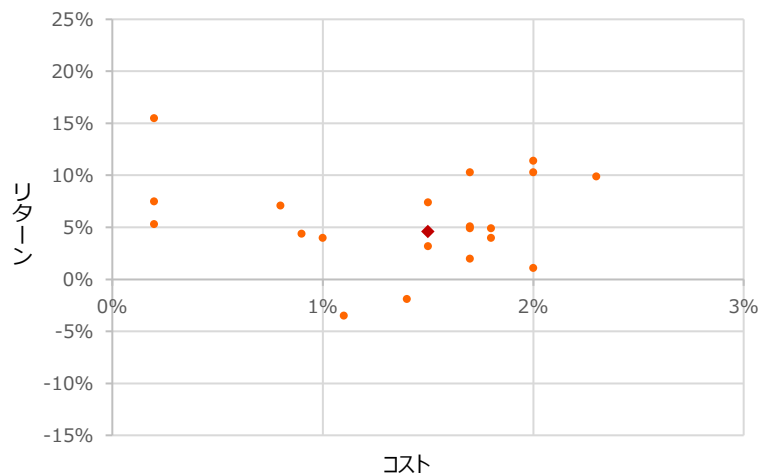
- もみじ銀行における2023年3月末～2025年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
- 2023年3月末以降、日米株価の高値更新など好調な市場環境を背景に、加重平均リターンが改善しました。
- また、コストの低いファンドの残高が増加したことにより、加重平均コストがやや減少しています。 ※表内の◆は加重平均を表しています。

2023年3月末コスト・リターン

2024年3月末コスト・リターン

2025年3月末コスト・リターン

コスト・リターン

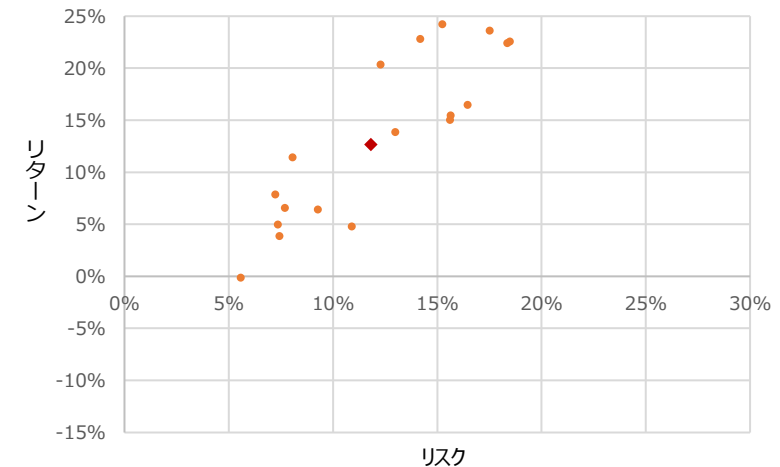
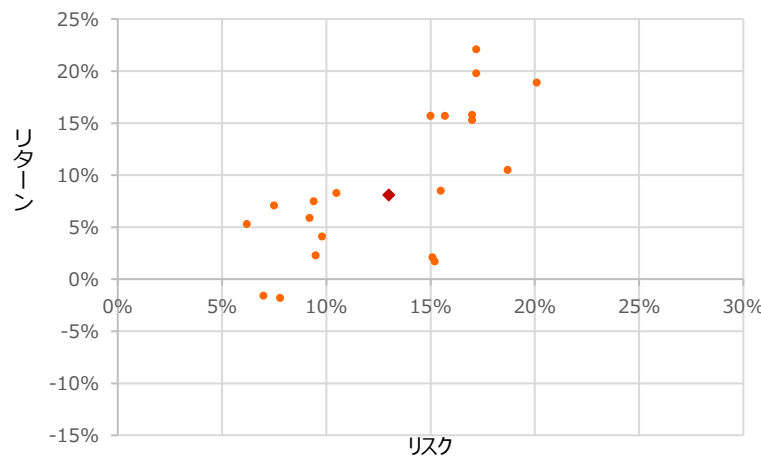
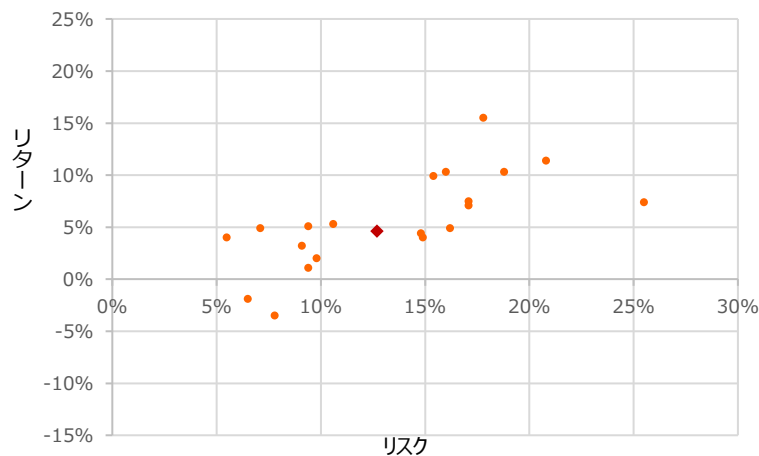


2023年3月末リスク・リターン

2024年3月末リスク・リターン

2025年3月末リスク・リターン

リスク・リターン



## ② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよび リスク・リターン\_北九州銀行

共通KPI

この世界で。  
この街で。  
このじぶん。  
**YMfg**

- 2025年3月末時点での残高上位20銘柄のコスト・リターンは、コスト1.4%（2024年3月末比▲0.1ポイント）、リスク13.6%（同比▲0.2ポイント）に対してリターン16.5%（同比+6.8ポイント）となりました。
- コストの低いファンドの残高増加により、加重平均コストがやや減少したことに加え、海外株式を中心とした市場環境の改善をうけ、全体のリスク・リターンは改善しました。

### 2025年3月末

順位	銘柄名	運用会社	カテゴリ	コスト	リターン	リスク
1	Y Mアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	海外株式	2.0%	23.6%	17.5%
2	Y Mアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	国内株式	1.8%	20.3%	12.3%
3	ストックインデックスファンド2 2 5	大和AM	国内株式	0.7%	15.0%	15.6%
4	杏の実（毎月分配型）	大和AM	海外債券	1.7%	6.4%	9.3%
5	A B米国成長株投信B（為替ヘッジなし）	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.5%	18.5%
6	i F r e e S & P 5 0 0インデックス	大和AM	海外株式	0.2%	25.3%	16.2%
7	フィデリティ・世界割安成長株B（H無）	フィデリティ	海外株式	2.3%	22.2%	15.0%
8	フィデリティ・U Sリート・ファンド B	フィデリティ	不動産	2.0%	16.5%	16.5%
9	Y Mアセット・バランスファンド（成長）	ワイエムAM	バランス	1.5%	3.9%	7.5%
10	e M A X I S S I m米国株式S & P 5 0 0	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	25.5%	16.2%
11	e M A X I S S I m全世界株式	三菱UFJAM	海外株式	0.1%	22.8%	14.2%
12	グローバルソブリンオープン（毎月決算型）	三菱UFJAM	海外債券	1.7%	2.5%	6.4%
13	A B米国成長株投信D（Hなし） 予想分配	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.4%	18.4%
14	ダイワJ - R E I Tオープン（毎月分配型）	大和AM	不動産	1.0%	4.7%	11.0%
15	Y Mアセット・バランスファンド（安定）	ワイエムAM	バランス	1.4%	-1.6%	6.4%
16	グローバルハイインカムストックファンド	野村AM	海外株式	1.7%	20.5%	12.1%
17	i F r e e 日経2 2 5インデックス	大和AM	国内株式	0.2%	15.4%	15.7%
18	i F r e e 8資産バランス	大和AM	バランス	0.2%	11.4%	8.1%
19	ピクテグローバルインカム株式 毎月分配型	ピクテ	海外株式	2.3%	13.8%	13.0%
20	財産3分法ファンド（毎月分配型）	日興AM	バランス	1.5%	6.6%	7.7%
<b>残高加重平均値</b>				<b>1.4%</b>	<b>16.5%</b>	<b>13.6%</b>

※リスク・リターンについては、新規取扱ファンドの取引開始前より以前の基準価額及び分配金単価がシステム上過去に遡って遡及できないことから、ウエルスアドバイザー社の算出するリスクリターン（直近5年のリスク・リターン、2025年3月末時点）にて算出しております。

## ② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン散布図\_北九州銀行

共通KPI

この世界で。  
この街で。  
このじぶん。

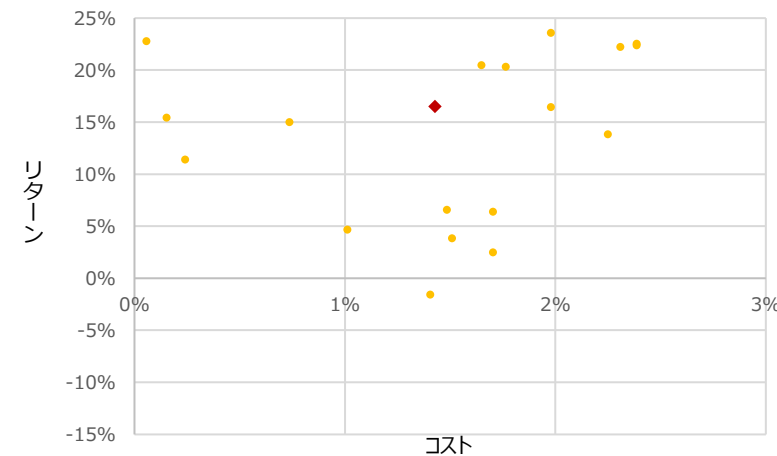
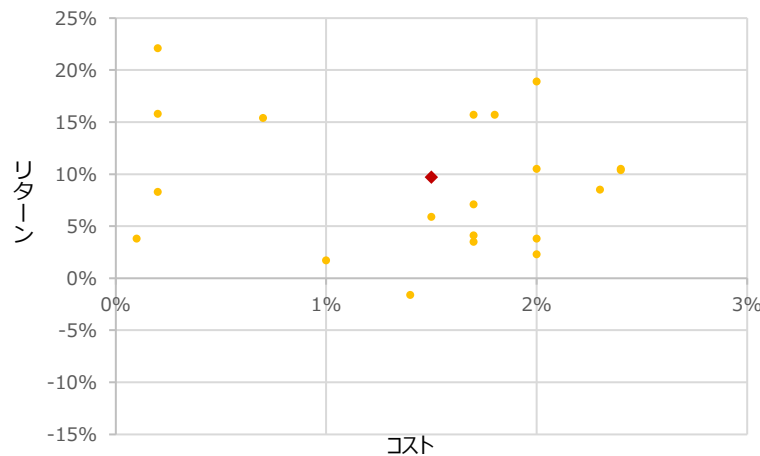
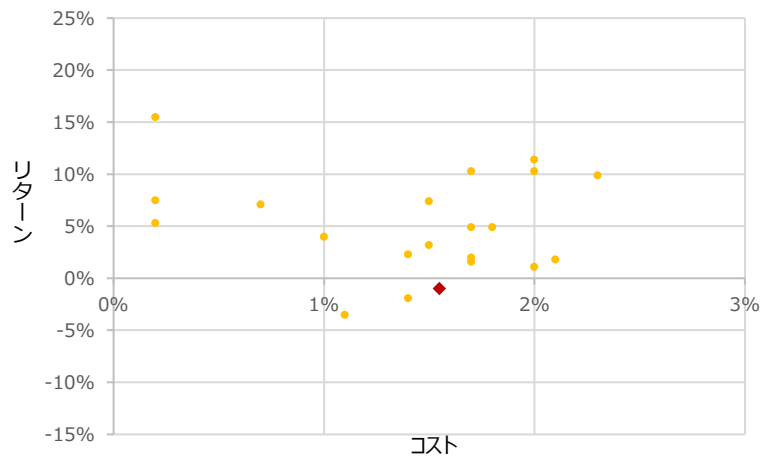
# YMfg

- 北九州銀行における2023年3月末～2025年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
- 2023年3月末以降、日米株価の高値更新など好調な市場環境を背景に、加重平均リターンが改善しました。
- また、コストの低いファンドの残高が増加したことにより、加重平均コストがやや減少しています。 ※表内の◆は加重平均を表しています。

2023年3月末コスト・リターン

2024年3月末コスト・リターン

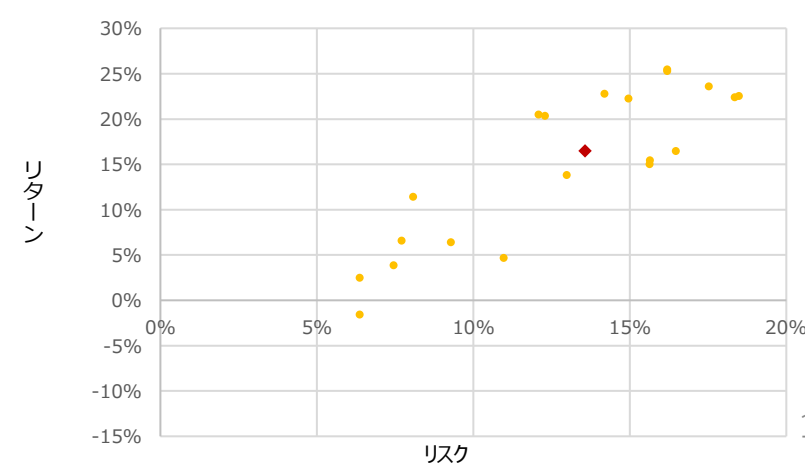
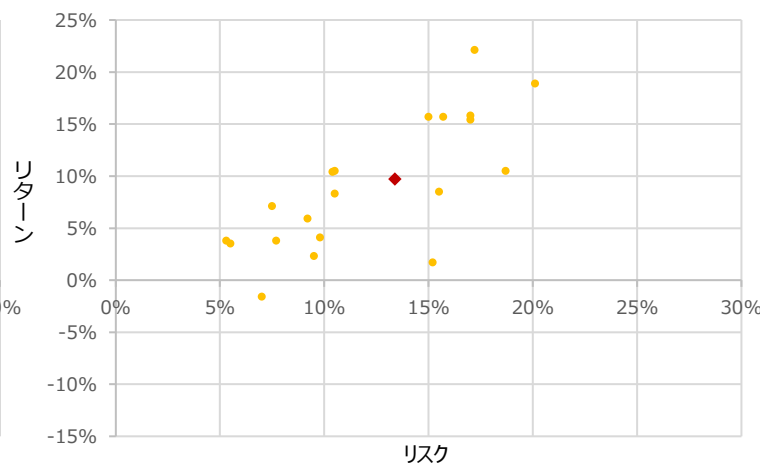
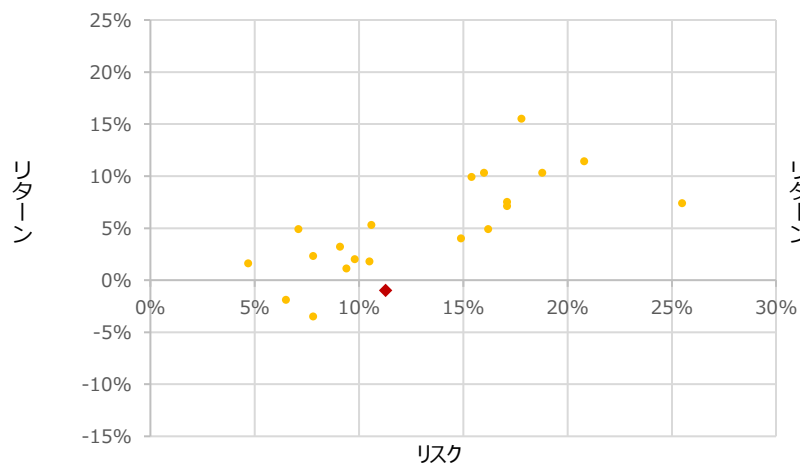
2025年3月末コスト・リターン



2023年3月末リスク・リターン

2024年3月末リスク・リターン

2025年3月末リスク・リターン



コスト・リターン

リスク・リターン

## ②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよび リスク・リターン\_ワイエム証券

共通KPI

この世界で。  
この街で。  
このじぶん。

YMfg

- 2025年3月末時点での残高上位20銘柄のコスト・リターンは、コスト2.4%（2024年3月末比横ばい）、リスク16.5%（同比+0.6ポイント）に対してリターン21.5%（同比+11.4ポイント）となりました。
- 海外株式を中心とした市場環境の改善をうけ、リスクを取りながらも効率的なリターンを得られています。

### 2025年3月末

順位	銘柄名	運用会社	カテゴリ	コスト	リターン	リスク
1	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替Hなし>（毎月決算型）	インベスコ	海外株式	2.6%	24.2%	15.1%
2	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.4%	18.4%
3	YMアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	海外株式	2.0%	23.6%	17.5%
4	ピクテ・バイオ医薬品 F（毎月決算型）為替ヘッジなしコース	ピクテ	海外株式	2.8%	11.5%	15.4%
5	YMアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	国内株式	1.8%	20.3%	12.3%
6	ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）	日興AM	不動産	2.1%	16.0%	15.7%
7	netWIN GSテクノロジー株式ファンド B（ヘッジなし）	ゴールドマン・サックス・AM	海外株式	2.8%	22.5%	22.5%
8	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2.4%	22.5%	18.5%
9	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	三井住友トラストAM	海外株式	2.5%	18.4%	23.6%
10	J-REIT・リサーチ・オープン（毎月決算型）	三井住友トラストAM	不動産	1.5%	4.7%	11.0%
11	イーストスプリング・インド株式ファンド（3ヵ月決算型）	イーストスプリング	海外株式	2.6%	27.6%	16.1%
12	インベスコ世界厳選株式オープン<為替Hなし>（年1回決算型）	インベスコ	海外株式	2.6%	24.2%	15.2%
13	T&Dインド中小型株ファンド	T&DAM	海外株式	2.7%	26.7%	17.5%
14	ニッセイ宇宙関連グローバル株式 F（資産成長型・為替Hなし）	ニッセイAM	海外株式	2.6%	21.9%	17.1%
15	イーストスプリング・インド株式オープン	イーストスプリング	海外株式	2.6%	27.8%	16.3%
16	グローバルAIファンド	三井住友DSAM	海外株式	2.6%	23.1%	27.3%
17	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	ピクテ	海外株式	2.3%	13.8%	13.0%
18	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	日興AM	海外株式	2.6%	20.6%	19.5%
19	フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース（為替ヘッジなし）	フィデリティ	海外株式	2.3%	22.2%	15.0%
20	GSグローバル・ビッグデータ投資戦略 Bコース（為替Hなし）	ゴールドマン・サックス・AM	海外株式	2.0%	22.8%	15.4%
<b>残高加重平均値</b>				<b>2.4%</b>	<b>21.5%</b>	<b>16.5%</b>

※従来は、KPIの算出期間である5年前の分配落ち後基準価額を起点とし、各期の分配落ち後基準価額に分配金を累積加算した基準価額を用いて、直近5年のリスク・リターンを算出しておりました。今回より、算出に用いる基準価額を、設定来の分配金再投資後（税引前）の基準価額に変更し、直近5年のリスク・リターンを算出しております。

## ② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン散布図\_ワイエム証券

共通KPI

この世界で。  
この街で。  
このじぶん。  
**YMfg**

- ワイエム証券における2023年3月末～2025年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
- 2023年3月末以降、日米株価の高値更新など好調な市場環境を背景に、加重平均リターンが改善しました。

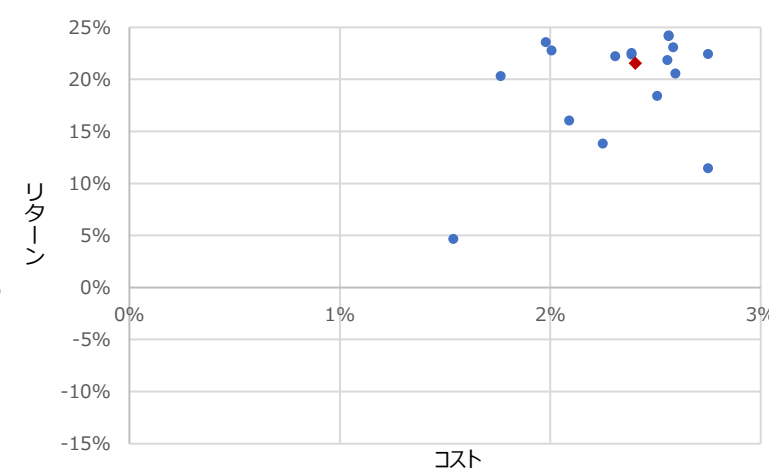
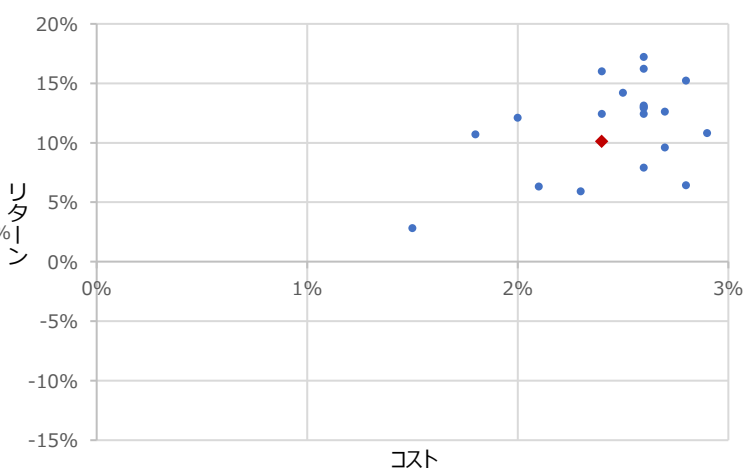
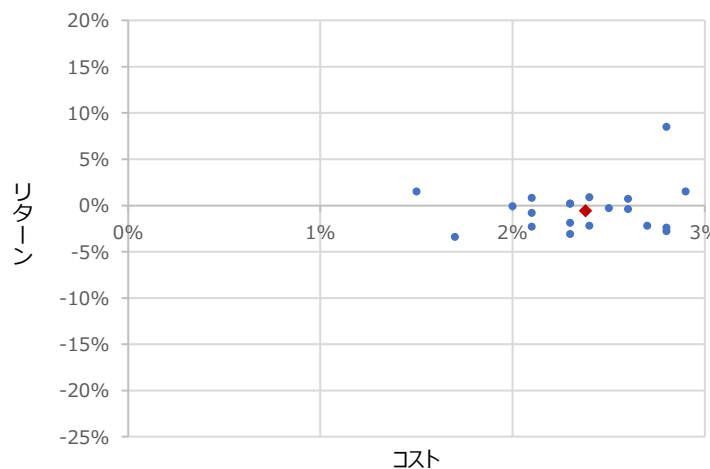
※表内の◆は加重平均を表しています。

2023年3月末コスト・リターン

2024年3月末コスト・リターン

2025年3月末コスト・リターン

コスト・リターン

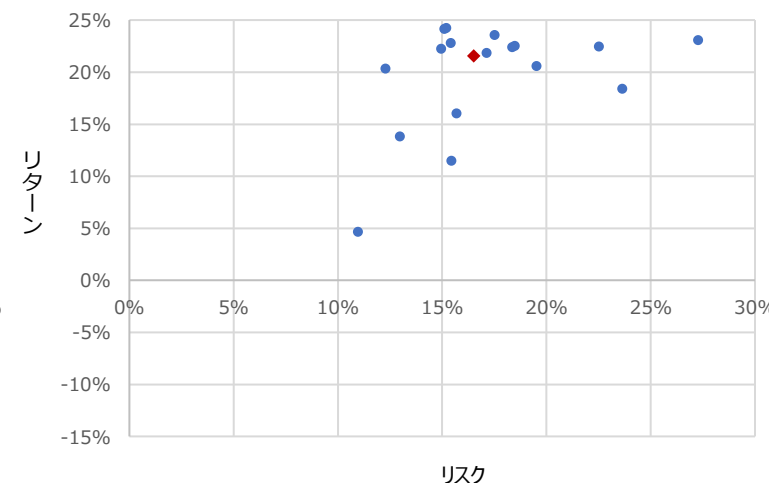
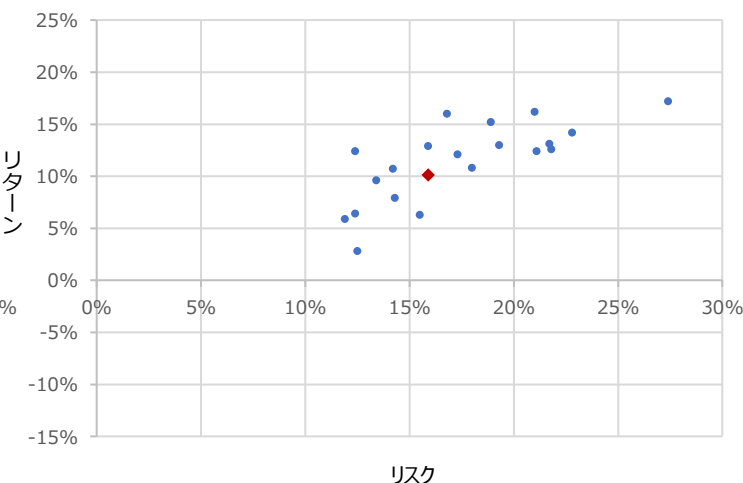
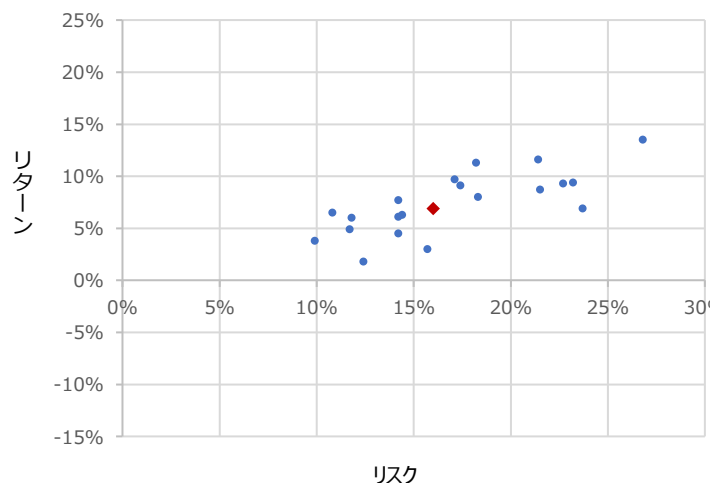


2023年3月末リスク・リターン

2024年3月末リスク・リターン

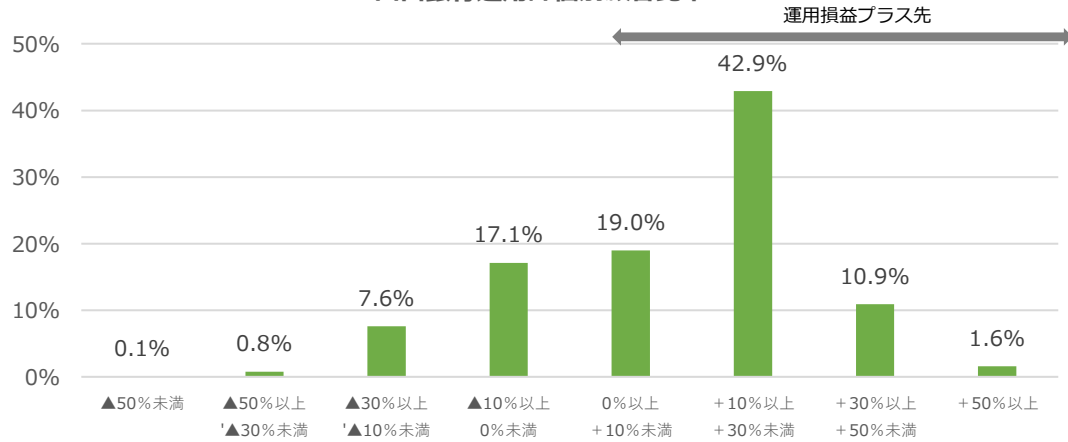
2025年3月末リスク・リターン

リスク・リターン

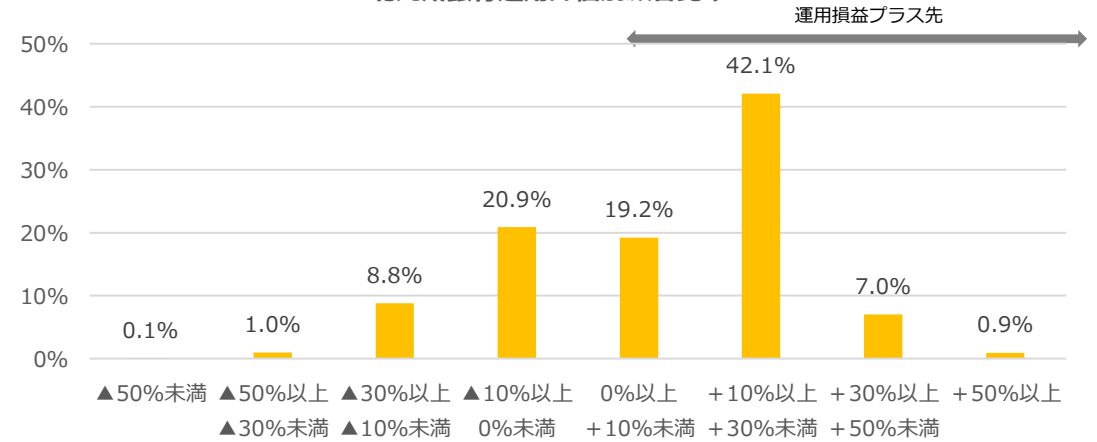


- 2025年3月末時点で運用評価がプラスのお客さまは、山口銀行74.4%（2024年3月末比▲15.6ポイント）、もみじ銀行61.6%（同比▲25.3ポイント）、北九州銀行69.2%（同比▲18.7ポイント）となっております。
- 市場金利が上昇し、市場価格調整によりマイナスに働いたこと等をうけ、運用評価がマイナスのお客さまの割合が増加しました。

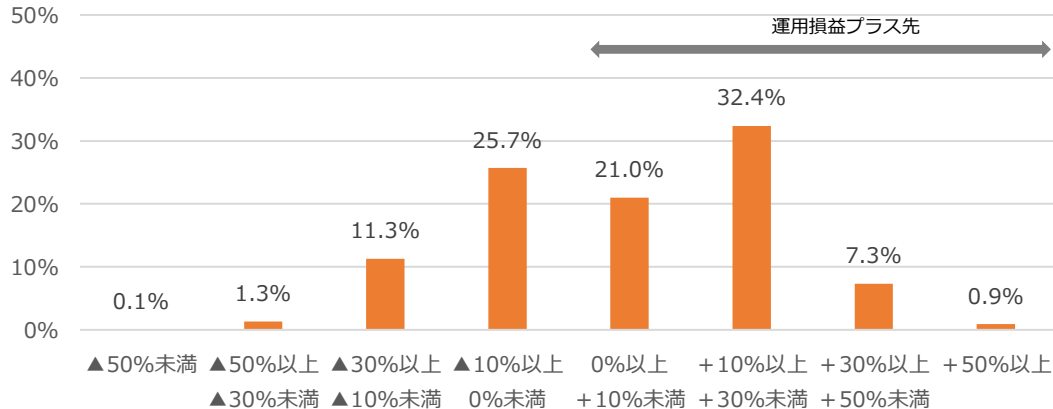
山口銀行運用評価別顧客比率



北九州銀行運用評価別顧客比率



もみじ銀行運用評価別顧客比率



【運用評価プラスのお客さま比率】（2023年3月末～2025年3月末）

	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2024年3月比
山口銀行	71.0%	90.0%	74.4%	▲15.6ポイント
もみじ銀行	67.7%	86.9%	61.6%	▲25.3ポイント
北九州銀行	63.9%	87.9%	69.2%	▲18.7ポイント

- 2025年3月末時点での残高上位20商品のコスト・リターンは、山口銀行でコスト0.7%（2024年3月末比▲0.1ポイント）、リターン2.4%（同比▲0.4ポイント）、もみじ銀行でコスト0.7%（同比▲0.1ポイント）、リターン2.4%（同比▲0.3ポイント）、北九州銀行でコスト0.7%（同比横ばい）、リターン2.4%（同比▲0.2ポイント）となりました。
- 市場金利の上昇に伴い、市場価格調整がマイナス要因となったことで、全体としてリターンはやや低下しました。

## 山口銀行（2025年3月末）

順位	銘柄名	コスト	リターン
1	サニーガーデンEX	0.7%	2.8%
2	サニーガーデン	0.5%	1.8%
3	やさしさ、つなぐ	0.5%	0.7%
4	プレミアシップ（外貨建）	0.7%	3.1%
5	しあわせ、ずっと	0.7%	1.3%
6	外貨建・エブリバディプラス	0.6%	2.7%
7	ビー ウィズ ユー プラス	0.8%	-0.2%
8	ロングドリームGOLD	0.7%	1.3%
9	ロングドリームGOLD2	0.8%	5.4%
10	ロングドリームGOLD3	0.9%	4.4%
11	プレミアストーリー2	0.8%	3.5%
12	しあわせ、ずっと2	0.9%	4.2%
13	ビーウィズユー	0.5%	2.2%
14	プレミアカレンシー・プラス2	0.7%	3.0%
15	アップサイドプラス	1.0%	0.1%
16	あしたの、よろこび	0.9%	3.5%
17	デュアルドリーム	0.9%	2.1%
18	プレミアカレンシー・プラス	0.5%	2.2%
19	ロングドリームプラス	0.5%	3.3%
20	プレミアジャンプ	0.7%	1.3%
残高加重平均		0.7%	2.4%

## もみじ銀行（2025年3月末）

順位	銘柄名	コスト	リターン
1	サニーガーデンEX	0.7%	2.7%
2	サニーガーデン	0.5%	1.6%
3	プレミアシップ（外貨建）	0.7%	3.0%
4	やさしさ、つなぐ	0.6%	1.1%
5	ロングドリームGOLD	0.7%	1.0%
6	ビー ウィズ ユー プラス	0.8%	-0.5%
7	しあわせ、ずっと	0.6%	1.2%
8	ロングドリームGOLD2	0.8%	5.5%
9	外貨建・エブリバディプラス	0.6%	2.3%
10	ロングドリームGOLD3	0.9%	4.2%
11	アップサイドプラス	1.0%	-0.2%
12	しあわせ、ずっと2	1.0%	4.5%
13	プレミアカレンシー・プラス2	0.7%	1.9%
14	プレミアストーリー2	0.7%	3.3%
15	デュアルドリーム	1.0%	0.8%
16	あしたの、よろこび	0.9%	3.2%
17	あしたの、よろこび2	0.9%	0.1%
18	プレミアプレゼント	0.9%	0.7%
19	たのしみグローバル（指数）	0.8%	4.3%
20	プレミアジャンプ3・年金（外貨建）	0.7%	0.8%
残高加重平均		0.7%	2.4%

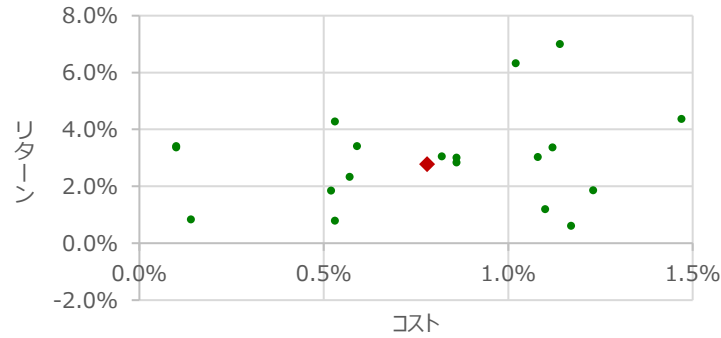
## 北九州銀行（2025年3月末）

順位	銘柄名	コスト	リターン
1	サニーガーデンEX	0.7%	2.8%
2	サニーガーデン	0.5%	1.7%
3	ロングドリームGOLD	0.7%	1.5%
4	やさしさ、つなぐ	0.4%	0.5%
5	しあわせ、ずっと	0.7%	1.3%
6	プレミアシップ（外貨建）	0.8%	4.2%
7	ロングドリームGOLD3	0.9%	4.7%
8	外貨建・エブリバディプラス	0.6%	3.2%
9	ビー ウィズ ユー プラス	0.8%	-1.1%
10	ロングドリームGOLD2	0.8%	5.0%
11	デュアルドリーム	0.8%	1.8%
12	プレミアストーリー2	0.8%	3.5%
13	しあわせ、ずっと2	1.0%	4.7%
14	アップサイドプラス	1.1%	-0.8%
15	たのしみグローバル（指数）	0.8%	3.9%
16	ビーウィズユー	0.6%	4.4%
17	プレミアジャンプ3・年金（外貨建）	0.7%	0.8%
18	プレミアプレゼント	0.9%	0.3%
19	あしたの、よろこび2	1.1%	-1.3%
20	プレミアカレンシー・プラス2	0.6%	0.7%
残高加重平均		0.7%	2.4%

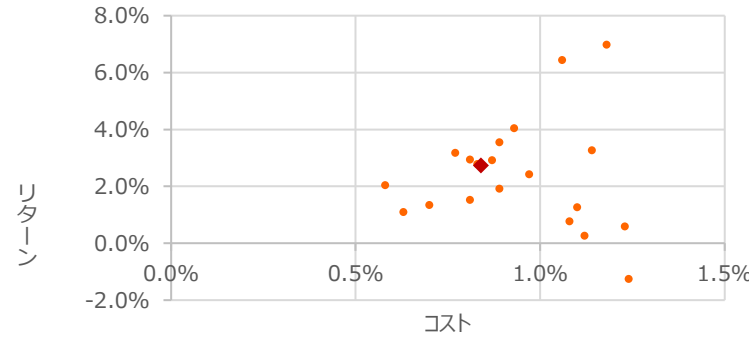
- 外貨建保険預り残高上位20商品における2023年3月末～2025年3月末時点コスト・リターンの散布図は下記のとおりです。
- 前述の記載と同様、市場金利の上昇に伴い、市場価格調整がマイナス要因となったことで、全体としてリターンはやや低下しました。

※表内の◆は加重平均を表しています。

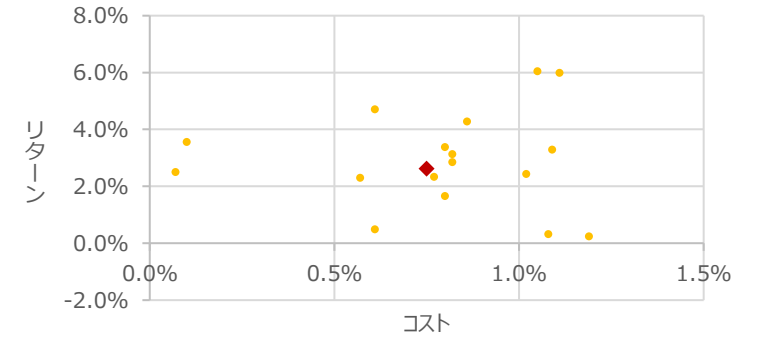
2024年3月末：山口銀行



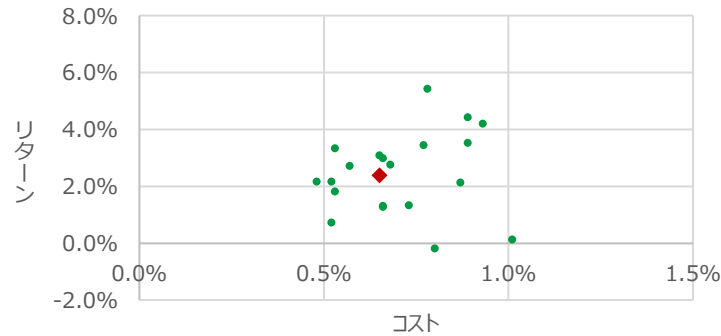
2024年3月末：もみじ銀行



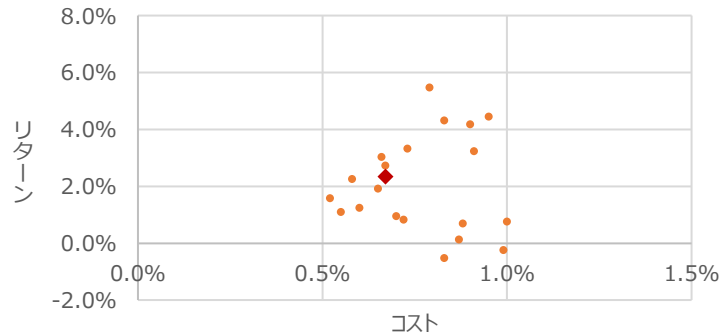
2024年3月末：北九州銀行



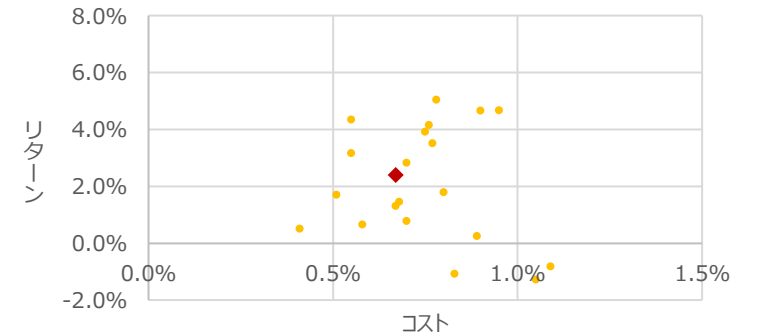
2025年3月末：山口銀行



2025年3月末：もみじ銀行



2025年3月末：北九州銀行



※外貨建保険は保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合があります。  
※解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

コスト・リターン

コスト・リターン

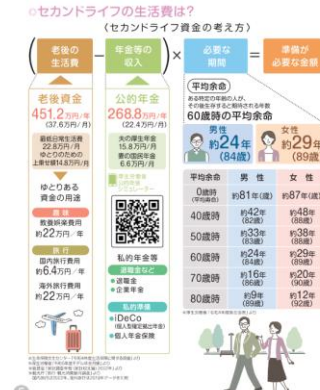
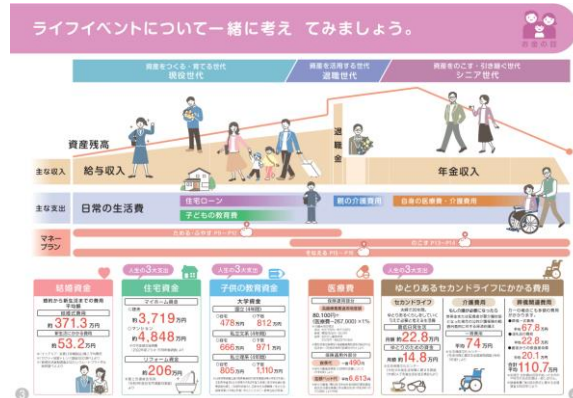
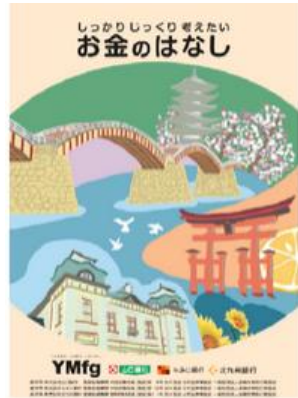
# 取組状況と独自KPI

---

## お客さまへのコンサルティング

- グループ3銀行では、情報提供資料およびニーズに応じた全5分野のコンサルティング支援ツール（FPアドバイスシート）等を活用することで、お客さまとの対話等を通じて多様化するお客さまのニーズを把握し、最善の利益の実現に努めてまいります。

### ■ 情報提供資料「しっかりじっくり考えたいお金のはなし」



介護費用について  
介護状態にそなえておきたい金額の目安 (1人あたり)

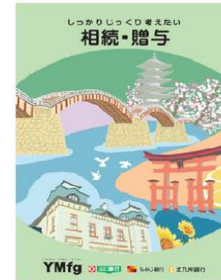
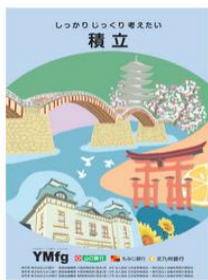
$$\text{介護費用} 74万円 \times \text{介護期間} 8.3年 \times \text{平均月額} 61万円 = \text{約580万円}$$

介護費用	介護期間	平均月額	合計
74万円	8.3年	61万円	約580万円

※介護費用は、介護状態にそなえておきたい金額の目安 (1人あたり) として算出されています。実際には、介護費用は介護の種類や介護の期間によって異なります。また、介護費用は介護の種類や介護の期間によって異なります。

介護費用	介護期間	平均月額	合計
105,310円	約3年	約35万円	約105,310円
167,650円	約4年	約42万円	約167,650円
197,050円	約5年	約39万円	約197,050円
270,480円	約7年	約39万円	約270,480円
309,380円	約8年	約39万円	約309,380円
362,170円	約9年	約39万円	約362,170円

### ■ FPアドバイスシート (全5分野)

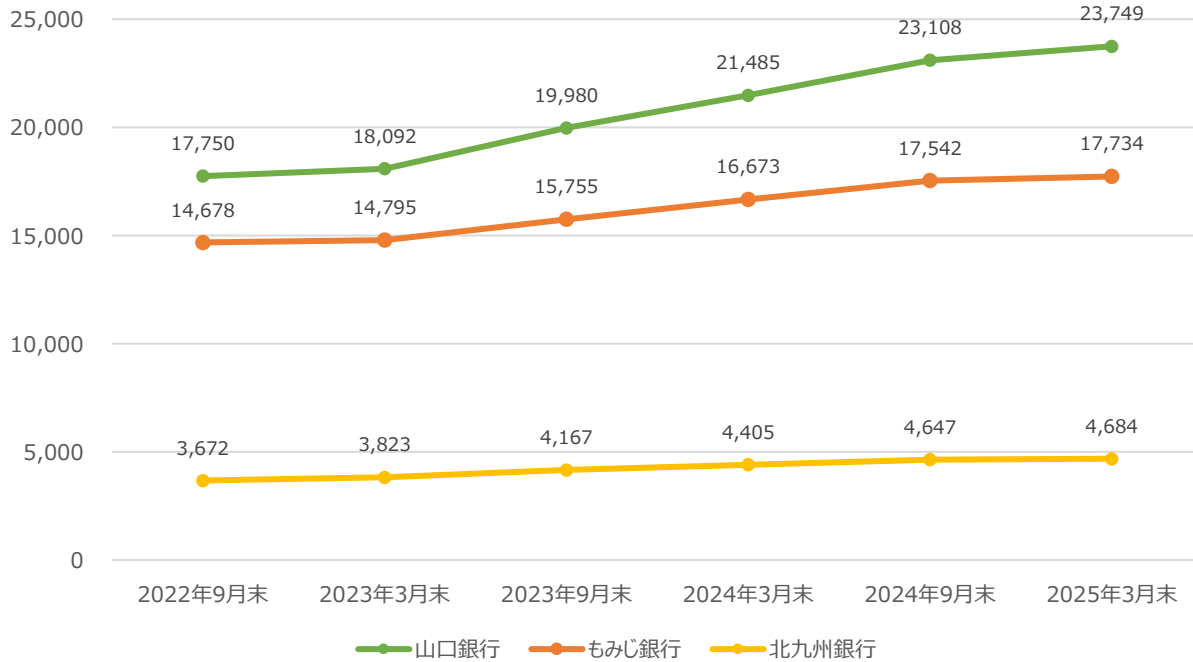


### ■ チラシ「ライフイベント健康診断」

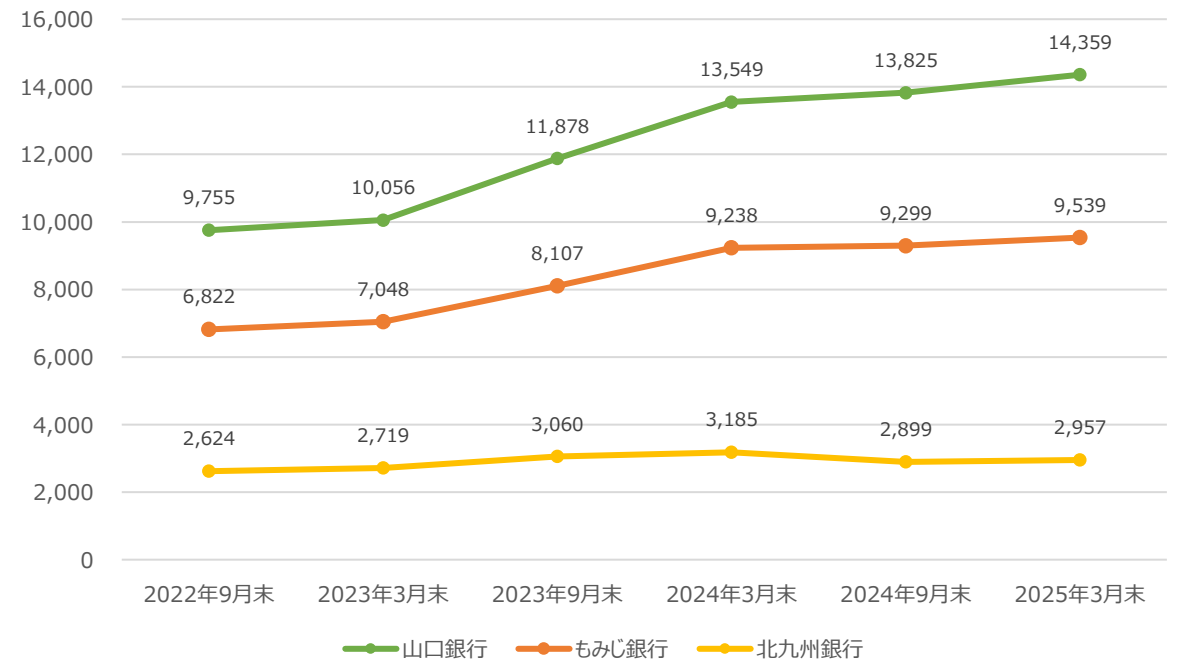
**投資信託・積立投信の契約先数**

- 前述のコンサルティング支援ツール「FPアドバイスシート（積立）」や情報提供資料「「しっかりじっくり考えたいお金のはなし」では、資産形成の必要性や長期分散投資の重要性をわかりやすく解説しています。
- これらのツール等を活用した長期分散投資の提案により、投資信託契約先数は3行計46,167先（2024年3月末比プラス1.9%）、積立投資信託契約先数は3行計26,855先（同比プラス3.2%）と全体では増加傾向にあります。

投資信託契約先数



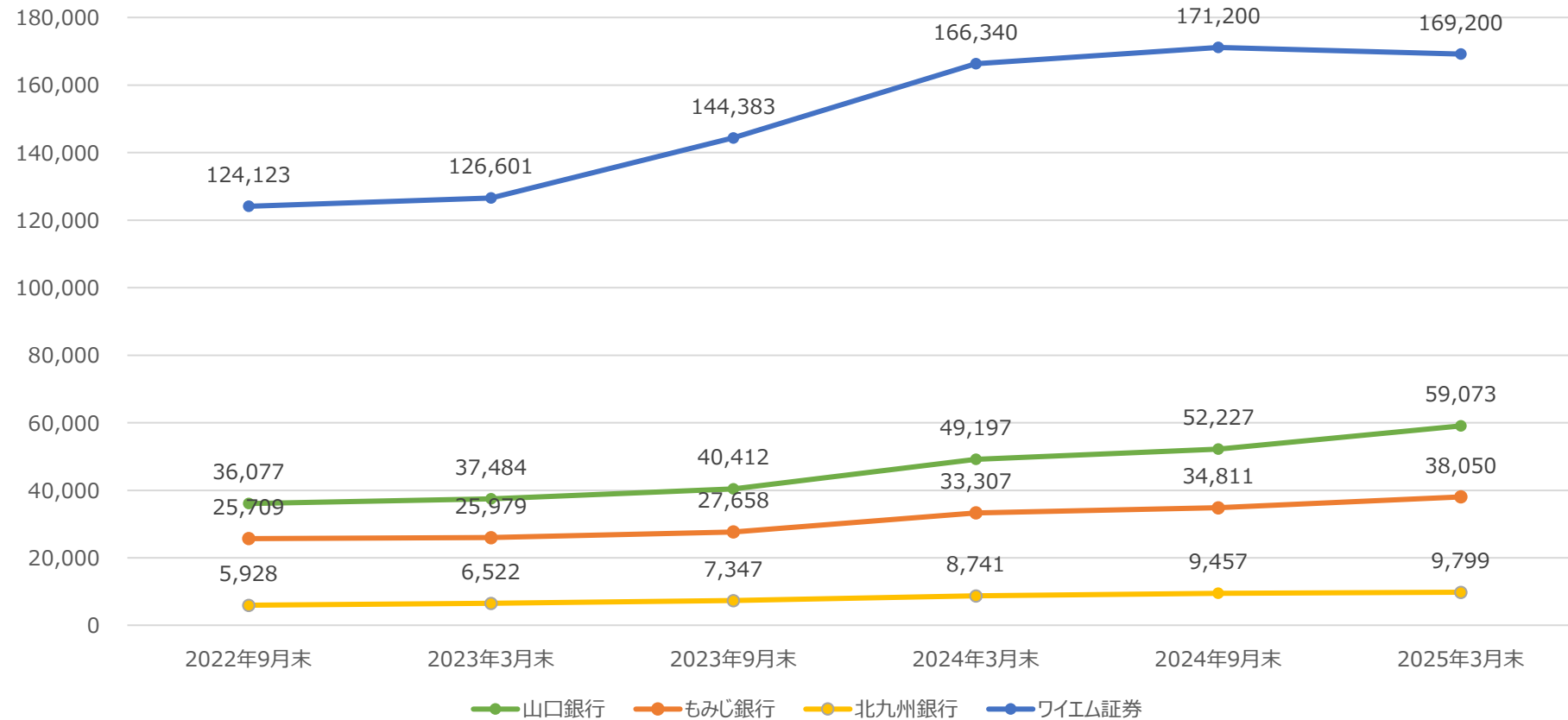
積立投資信託契約先数



投資信託残高

- 2024年1月からのNISA制度改正に伴う販売額および資金流入額の増加等により、グループでの投資信託残高は拡大傾向にあります。
- 今後も商品ラインアップの整備やポートフォリオ提案を行うなどの取り組みにより、お客さまの最善の利益につながるよう、お預かりする資産残高の拡大を図ります。

投資信託残高推移（百万円）



## 重要情報シート等を活用した分かりやすい情報提供

- お客さまが適切に商品・サービスを選択できるよう、2022年4月より、金融庁が活用を推奨する「重要情報シート」をグループ3銀行、ワイエム証券およびYMFGグロースパートナーズにて導入しております。当社グループにおける商品組成会社であるワイエムアセットマネジメントは、重要情報シート作成のための自社ファンド情報を販売会社に提供しております。
- グループ3銀行では、すべてのリスク性金融商品の提案時には、重要情報シート（金融事業者編）と合わせて「附表（横断比較シート）」を使用し、各商品の特徴やリスク・リターン、利回り等の比較、説明を行っています。
- 各種手数料について、契約締結前交付書面・目論見書・重要情報シート等を用い、お客さまにご理解いただけるよう丁寧なご説明に努めてまいります。

### ■ 重要情報シート

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る重要情報シート

1. 当社の基本情報			
社名	株式会社山口銀行		
登録番号	中国財務局長（野金）第6号		
加入協会	日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会		
銀行の概要を記したウェブサイト	https://www.yamaguchibank.jp/		

2. 取扱商品（銀行がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです）			
預金（投資性なし）	○	預金（投資性あり）	○
国内株式	△（※1）	外国株式	△（※1）
円建債券（※2）	△（※1）	外貨建債券	△（※1）
特殊な債券（仕組債等）	○	投資信託	○
ラップ口座	△（※1）	ETF	△（※1）
REIT	△（※1）	その他の上場商品	△（※1）
保険（投資リスクなし）	○	保険（投資リスクあり）	○
これら以外の商品	△（※1）	DeCo（個人型確定拠出年金）等も取扱っております。	

（※1）ワイエム証券への金融商品仲介によりご提供しております。  
（※2）当行では現在、公共債を取扱っております。

3. 商品ラインナップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）			
○	お客さま一人ひとりのご資産の状況、取引経緯、知識、目的、ニーズをヒアリングし、ご提案をさせていただきます。		
●	お客さまの資産の利益に資するコンサルティングを行ないます。幅広く商品ラインナップを整備しております。		
●	運用商品に関しては、お客さまの個別分散投資のお役に立ち、多様なカテゴリーからバランスよく商品をお薦めしております。また、下記のみずけにははまるものをお勧めいたします。		
①	過去のリスク対収益性が優れており、運用会社において厳格な分析体制のもと運用されているもの		
②	結構的専門性を有し、中長期の観点から適切な運用が期待できるもの		
③	お客さまのライフプランに合わせたお取組や万が一の場合の急変に備えることが期待されるもの		
●	当行においては、預金・保険・投資信託を主に取扱っており、株式型の金融商品につきましては、グループ会社であるワイエム証券への金融商品仲介によりご提供いたします。		

4. 苦情・相談窓口			
当社お客さま相談窓口（受付時間：平日9時～17時30分）		083-223-8075	
加入協会共通の相談窓口	全国銀行協会相談室	0570-017109	
	（受付時間：平日9時～17時）	(03-5252-3772)	
	特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせんセンター	0120-64-5005	
	（受付時間：平日9時～17時）		
保険商品の相談窓口	一般社団法人生命保険協会 生命保険相談所	03-3286-2648	
	（受付時間：平日9時～17時）		
金融庁金融サービス利用相談室（受付時間：平日10時～17時）		0570-016811	
		(03-5251-6811)	

2022年10月現在

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る

重要情報シート（金融事業者編）		ワイエム証券 YMfg	
2022年4月1日			
1. 当社の基本情報			
当社はお客さまに金融商品の販売をする者です			
社名	ワイエム証券株式会社		
登録番号	中国財務局長（野金）第8号		
加入協会	日本証券業協会		
当社の概要を記したウェブサイト	https://www.ymsec.co.jp/		
2. 取扱商品			
当社がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです			
預金（投資性なし）	○	預金（投資性あり）	○
国内株式	○	外国株式	○
円建債券	○	外貨建債券	○
特殊な債券（仕組債等）	○	投資信託	○
ラップ口座	○	ETF、ETN	○
REIT	○	その他の上場商品	○
保険（投資リスクなし）	○	保険（投資リスクあり）	○
これら以外の商品	○		○
3. 商品ラインナップの考え方			
商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです			
<p>当社は、山口フィナンシャルグループの一員として、銀行では取り扱っていない商品・サービスを幅広く提供することにより、お客さまの多様な資産運用ニーズにお応えし、地域のお役に立ちたいと考えております。</p> <p>運用商品に関しては、運用会社から支払われる手数料やグループ会社から提供される商品に採られることなく、中長期投資を中心とした商品の運用実績、内外環境や市場動向などを踏まえて、多様な商品の中からお客さまにふさわしい商品を選定いたします。</p> <p>○ お客さまの投資経験・投資スタイルにあわせて、比較的风险が小さく商品内容がわかりやすい商品から、有価証券投資のご経験が豊富なお客さまのニーズにお応えする商品まで、幅広く取り扱っております。</p>			
4. 苦情・相談窓口			
当社お客さま相談窓口	083-223-0190		
	（受付時間：平日9時30分～17時30分）		
加入協会共通の相談窓口	0120-64-5005		
	（受付時間：平日9時～17時）		
特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）	0570-016811		
	(03-5251-6811)		

### ■ 重要情報シート附表

資産運用をお考えのお客さまへのご案内 ～各商品の特徴を確認・比較してみましょう～

	円預金 つかう ためる	円建債券 ためる ひやす	外貨預金 ためる ひやす	外貨建債券 ためる ひやす	投資信託 ためる ひやす	一時払生命保険 このすゝめをえ
お客さまのご意向	●元金割れないもので運用したい ●利子を受け取りながら運用したい ●資金のしやすさを重視したい	●購入代金の払込や利子・償還金受け取りがすぐに実行される ●利子を受け取りながら運用したい ●定期的に利子を受け取ることができ、満期日には元金が償還されることが約束されます （※一部商品はワイエム証券への金融商品仲介によりご提供しております）	●元金割れないもので運用したい ●利子を受け取りながら運用したい ●資金のしやすさを重視したい	●購入代金の払込や利子・償還金受け取りがすぐに実行される ●利子を受け取りながら運用したい ●定期的な利子を受け取ることができ、満期日には元金が償還されることが約束されます （※ワイエム証券への金融商品仲介によりご提供しております）	●幅広い資産へ分散投資したい ●運用の専門家が集めた株や債券などの組み合わせから自由に選べる ●NISAを活用したい	●所得割額と控除額を兼ねた商品で、税金の負担を軽減したい ●将来の生活資金や老後資金などに合わせた様々な機能・特長が備わっています ●NISAを活用したい
しくみ	銀行	発行体 (国・地方公共団体など)	銀行	発行体 (国・地方公共団体など)	運用会社(株式会社)	国内外の金融市場 (株式・債券・先物)
リスク	低	中	中	中	中	中
リターン	低	中	中	中	中	高
(ご参考)	借入金金利: 0.200% 2025年6月2日現在	貸付金利は引上げ水準 個人向け定期10年: 1.00% 2025年6月5日現在	貸付金利は引上げ水準 外貨建債券金利: (※) 0.200% 2025年6月4日現在	通貨、為替及び発行体により異なります 米10年10年: 4.422% 豪10年10年: 4.258% 2025年6月3日 (時差)	商品により異なります 担当にお問い合せください	(円) 建 (外) 債 (保) 険 商品により異なります 担当者にお問い合せください
一般的な費用のイメージ	コスト低	コスト低	コスト低	コスト低	(運用方針に応じて) コスト低～中	(契約開始した時点) コスト高
費用	購入・契約時	-	取扱手数料	取扱手数料	取扱手数料 不審な商品もあります	契約時費用 (内保) 取扱手数料 商品により異なります
	保有・契約期間中	-	-	-	信託報酬 商品により異なります	保険料 商品により異なります
	換金・解約時	-	取扱手数料	取扱手数料	信託財産留保額 不審な商品もあります	解約時費用 (内保) 取扱手数料 商品により異なります

上記資料は、情報提供を目的とした一般的な概要を説明したものであり、個別の商品説明を行うものではありません。裏面の留意事項についてあらかじめご確認ください。



**アフターフォロー実施状況**

- 当社グループでは、投資信託や保険商品をご契約のお客さまのうち、一定の条件に該当する方に対し、担当者によるご面談・ご連絡や書面等を通じて、運用状況などの適時適切な情報提供、アフターフォローを実施しております。
- 相場急変によりファンドの基準価額が大幅に下落した際には、社内ルールに則ったフォローアップを実施しています。担当者向けにはマーケット解説動画の配信等によるフォローも行っております。

■ お客さま向けDM



■ グループ3銀行ホームページ「基準価額下落のお知らせ」

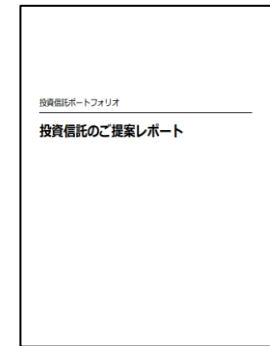
4月14日付投資信託基準価額の下落について

2024年4月14日、当社の取り扱っている下記ファンドについて、基準価額が前営業日比4%以上下落いたしましたのでお知らせいたします。

4月14日 下落率1%以上のファンド (運用会社)	基準価額 (円)	前営業日比 (%)	前営業日 (%)
YMFアセット・成長・国際ファンド (ワイエムアセットマネジメント株式会社)	10,724	-5.4	
Oni/リアルティ・グループ・グロース株式ファンド (成長) (ワゴッドマネジメント Oni 株式会社)	11,346	-1.6	
Oni/リアルティ・グループ・グロース株式ファンド (成長) (ワゴッドマネジメント Oni 株式会社)	9,517	-9.6	

詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

■ ポートフォリオ提案ツール「WealthAdvisor」-「現状分析・リバランス提案」



**金融経済教育への取組み**

- 地域の金融リテラシー向上に資するため、学校や大学等での出張授業やお取引先企業での職域セミナー等を実施しております。
- 2024年度は、山口銀行として初めて「金融経済教育推進機構（J-FLEC）」との共催セミナーを実施しました。

■ 山口銀行×J-FLEC共済セミナー

■ 出張授業の風景と受講生徒様の感想

J-FLEC × YMfg × 山口銀行  
共催セミナー  
(山口銀行初のJ-FLECとの共催です)

先着30名  
**「将来に向けて 知っておきたいお金の話」**

J-FLEC (ファイエック) について？  
金融経済教育を推進するため、法律に基づいて設立された 中立・公正な認可法人です



学校では聞けない実践的な話まで教えてもらって将来のための勉強になりました！



親にもっと感謝しなければいけないと思いました！

### ご高齢のお客さまへの対応

- 日本証券業協会が作成したガイドライン「高齢顧客に対する勧誘による販売について」に基づき、ご高齢のお客さまに対する募集については、より丁寧な意思確認等を行っており、80歳以上のお客さまについて「継続的な状況把握」（健康状態や理解力、投資方針の変化等の確認）を実施しております。
- ご高齢のお客さまに対して金融商品を提案・販売する際は、複数回の面談やご家族のご理解を深めてまいります。

#### 当社グループ銀行における主な対応（2025年3月末現在）

- ① 高齢者を70歳以上とし、80歳以上のお客さまに対してはより慎重な対応を行っております。
- ② 70歳以上80歳未満のお客さま
  - I. 「勧誘可能な商品」の募集を行う場合は、可能な限りご家族に同席いただくことで、より慎重な確認を行っております。また、注文の前後で役席者がお客さまに確認の電話を行い、申込内容をご理解いただいていることを確認しております。
  - II. 「勧誘留意商品（勧誘可能な商品以外の商品：※1）」の募集を行う場合は、上記に加え、内部管理責任者による事前承認の前に面談等によって、役席者が適合性を確認しております。
- ③ 80歳以上のお客さま
  - I. 上記②に加え、原則としてご家族に同席いただくほか、勧誘留意商品の募集に関しては初回説明・勧誘の当日に募集・購入申込を受けることは原則不可とすることで、より慎重な意思確認を行っております。
  - II. 勧誘留意商品に関しては約定後、時間をおいて一週間以内に約定結果を通知のうえ、再度申込内容の理解度・取引を行ったことへの理解度を確認しております。
  - III. 毎年3月末時点で投資信託を3百万円以上保有する80歳以上のお客さまに対し、年1回以上、電話または面談により役席が継続的な状況把握を行い、健康状態や理解力、投資方針の変化等の確認を実施しております。

※1:勧誘留意商品・・・下記「勧誘可能な商品」として定めている商品以外の商品

「勧誘可能な商品」

①比較的変動が小さく、仕組みが複雑でなく、換金性が高い商品

- ・国債等
- ・公社債を中心に投資し安定的な運用を目指す投資信託
- ・米ドル、ユーロ、豪ドル建て上記に相当する投資信託等

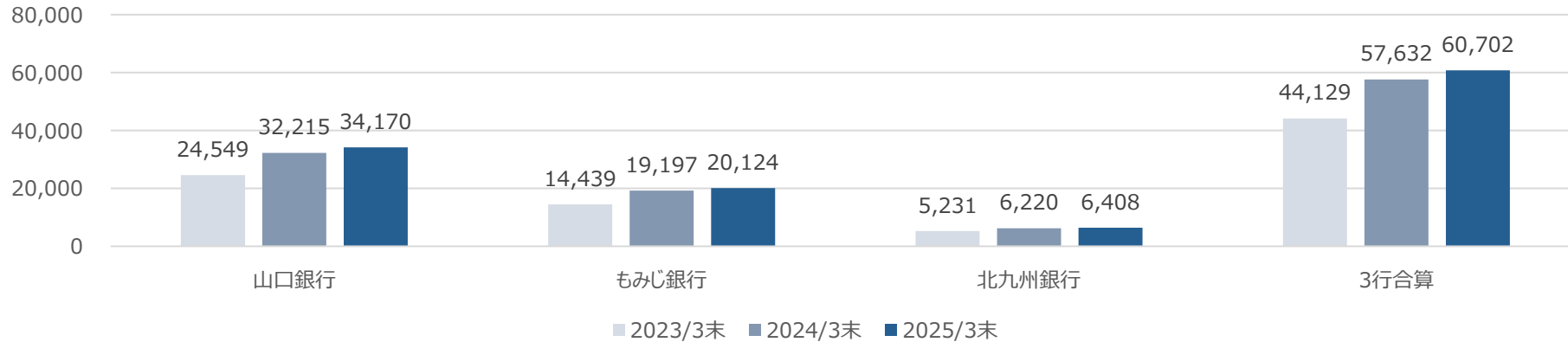
②周知性の高い商品、時々刻々価格が変動する商品

- ・日経225やTOPIXに連動する投資信託等 （出所：日本証券業協会）

**NISA制度の活用を通じた資産形成支援**

- NISA制度について、ホームページやリーフレットを活用した、お客さまに分かりやすい情報の提供に取り組んでおります。
- 2024年度はグループ3銀行において、NISA関連のキャンペーンの実施（計3回）や、店頭での提案、Eメール、DM等を通じたPR活動も行いました。
- 結果として、2025年3月末のNISA口座数は3銀行で60,702口座となり、NISAの取組みを強化し始めた2023年3月末と比較して37.3%増加いたしました。
- 引き続き、地域金融機関としてNISA制度の活用を促進することにより、地域の皆様の資産形成を支援してまいります。

NISA口座開設数



■ ホームページ



■ NISAキャンペーンリーフレット



■ NISAノベルティ（ティッシュ）



■ WEBで投資信託・NISA口座開設



## 投資信託に関する管理プロセス

- プロダクトガバナンス態勢を踏まえ、多様なお客さまの目的・資産状況・リスク許容度等に応じた様々なニーズに応えるため、商品・サービスを幅広く取り揃えてまいります。
- グループ3銀行、ワイエム証券におけるファンドの選定においては、不足するカテゴリを中心に、日本国内の全公募ファンドにおける同一カテゴリとの比較や、外部評価、販売体制等、定性面・定量面両面から分析を行います。
- ワイエムアセットマネジメントにおいては、運用戦略の方向決定、パフォーマンス評価、分析等の一連のサイクルを通じて、プロダクトガバナンス態勢の実効性を確保してまいります。

### 銀行・証券

導入前	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ポートフォリオ構築にあたって、取扱いファンドの中で主に不足するカテゴリから検討</li> <li>• 運用実績（主に日本国内の全公募ファンドにおける同一カテゴリのシャープレシオとの比較）、外部評価、販売体制（リサーチ力や運用体制、販売会社への支援等）等の定性面、定量面両面から各条件を満たすものを取り扱う</li> </ul>
導入後	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運用実績、外部評価等、主に定量面の観点で評価を実施</li> <li>• プロダクトガバナンス態勢の執行状況を検証</li> </ul>

### ワイエムアセットマネジメント

設定前	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運用戦略の方法を協議・決定</li> </ul>
設定後	実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運用計画に基づく運用を行なうとともに、運用状況を管理</li> <li>• 運用部長はファンドの運用が運用計画に沿って行われていることを確認</li> </ul>
	検証・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プロダクトガバナンス態勢の執行状況を検証</li> <li>• 運用のパフォーマンスの評価・分析、法令等にかかるモニタリングを実施</li> <li>• 運用リスクにかかる管理状況を検証</li> </ul>

- 製販全体でお客さまの最善の利益の実現を目指すため、2024年度は情報連携の対象ファンドの抽出、システム対応等データ連携の準備を行いました。
- グループ各社では、お客さまの満足度を把握するために、継続的にお客さまアンケートを実施しています。お客さまの声を起点とした商品・サービス改善の取組みを行ってまいります。

**商品ラインアップ（投資信託）**

- 多様なお客さまの目的・資産状況・リスク許容度等に応じた様々なニーズにお応えするため、前述の管理プロセスを踏まえた投資信託ラインアップ整備を行っております。
- 2024年度にグループ3銀行においては、不足するカテゴリおよびNISA対象商品を中心に8商品を新規導入、1商品を販売停止、ワイエム証券においては5商品を新規導入するなど、商品ラインアップの見直し・充実に努めております。

事業体別・カテゴリ別ラインアップ（2025年3月末時点）※1

	山口銀行				もみじ銀行				北九州銀行				ワイエム証券			
	取扱商品		NISA対象※2		取扱商品		NISA対象※2		取扱商品		NISA対象※2		取扱商品		NISA対象※2	
	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率
国内株式	15	13.9%	14	93.3%	14	13.1%	13	92.9%	15	13.9%	14	93.3%	32	11.8%	22	68.8%
海外株式	38	35.2%	31	81.6%	38	35.5%	31	81.6%	38	35.2%	31	81.6%	108	39.7%	86	79.6%
国内債券	2	1.9%	1	50.0%	2	1.9%	1	50.0%	2	1.9%	1	50.0%	6	2.2%	3	50.0%
海外債券	13	12.0%	5	38.5%	13	12.1%	5	38.5%	13	12.0%	5	38.5%	56	20.6%	9	16.1%
REIT	13	12.0%	6	46.2%	13	12.1%	6	46.2%	13	12.0%	6	46.2%	20	7.4%	6	30.0%
バランス	25	23.1%	18	72.0%	25	23.4%	18	72.0%	25	23.1%	18	72.0%	43	15.8%	27	62.8%
その他	2	1.9%	2	100.0%	2	1.9%	2	100.0%	2	1.9%	2	100.0%	7	2.6%	4	57.1%
合計	108	100.0%	77	71.3%	107	100.0%	76	71.0%	108	100.0%	77	71.3%	272	100.0%	157	57.7%

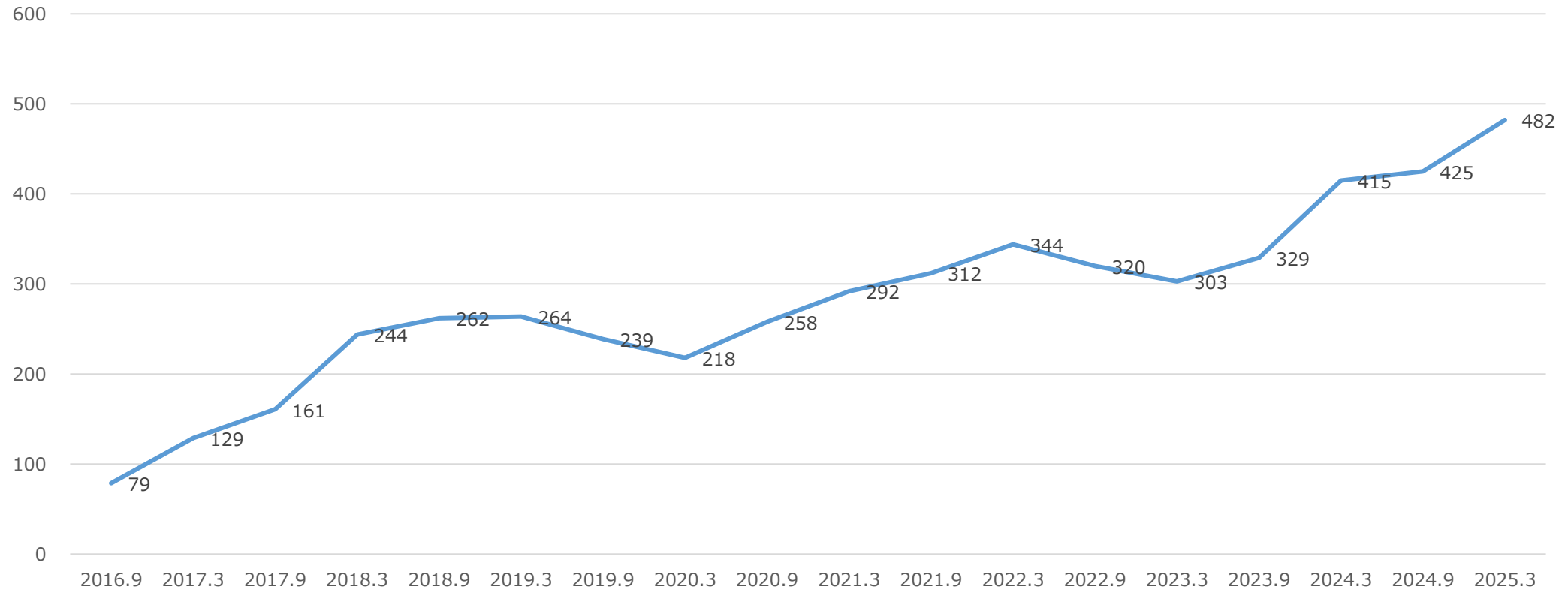
※1インターネット専用商品除く

※2カテゴリ毎の取扱商品のうちNISA対象商品の比率

**グループ会社（ワイエムアセットマネジメント）の運用資産残高推移**

- 2024年度は、2024年1月からのNISA制度改正に伴う投資家層の拡大による資金流入額の増加等により、運用資産残高は増加傾向にあります。
- 2025年度以降は、販売会社との情報連携も踏まえ、お客さまの資産形成等に貢献する商品、サービスの開発・販売・推奨等を行ってまいります。

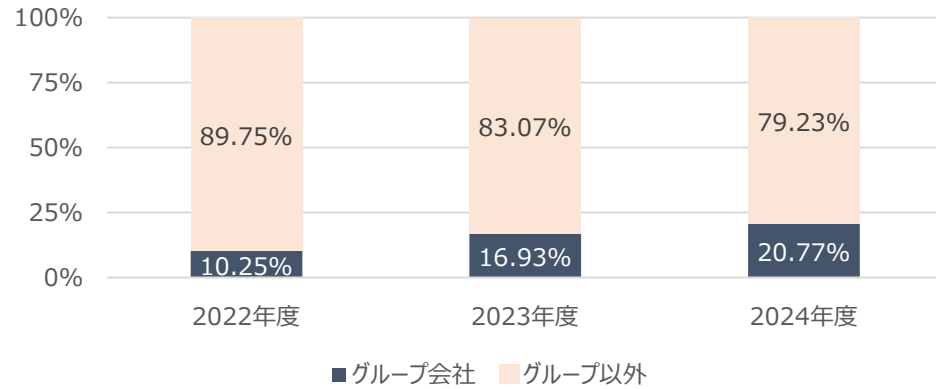
運用資産残高推移（億円）



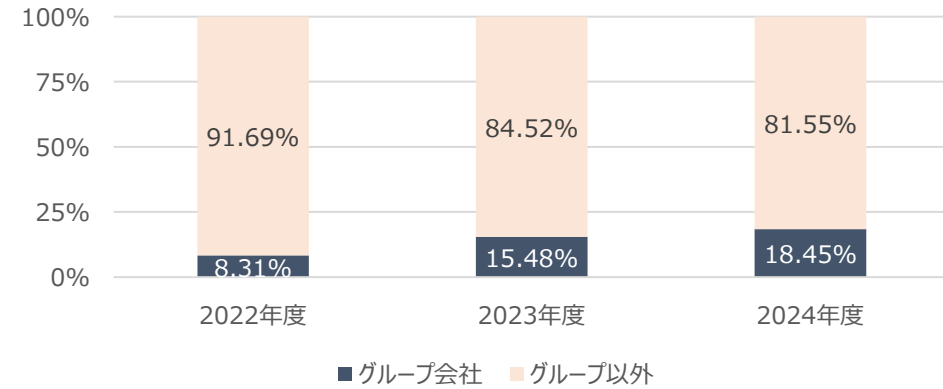
**グループ会社（ワイエムアセットマネジメント）の投資信託販売比率**

- グループ会社（ワイエムアセットマネジメント）の投資信託販売比率は全体の3割以下となっています。
- 今後も、グループ会社の商品に偏ることなく、お客さまの目的、ニーズ等に応じた商品提案を行ってまいります。

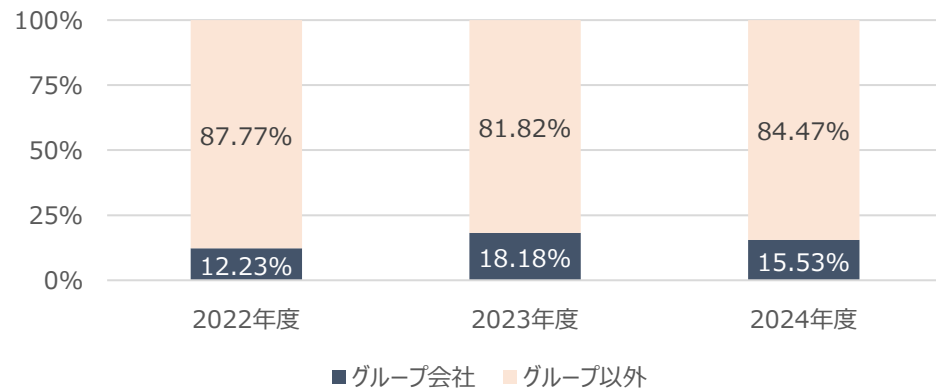
山口銀行



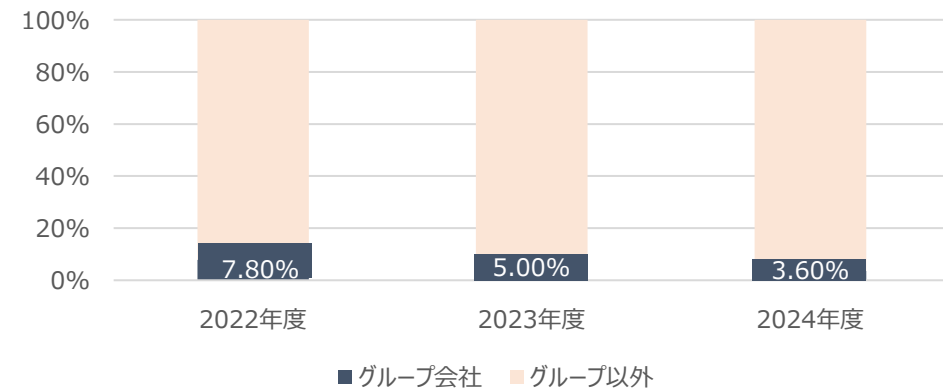
もみじ銀行



北九州銀行

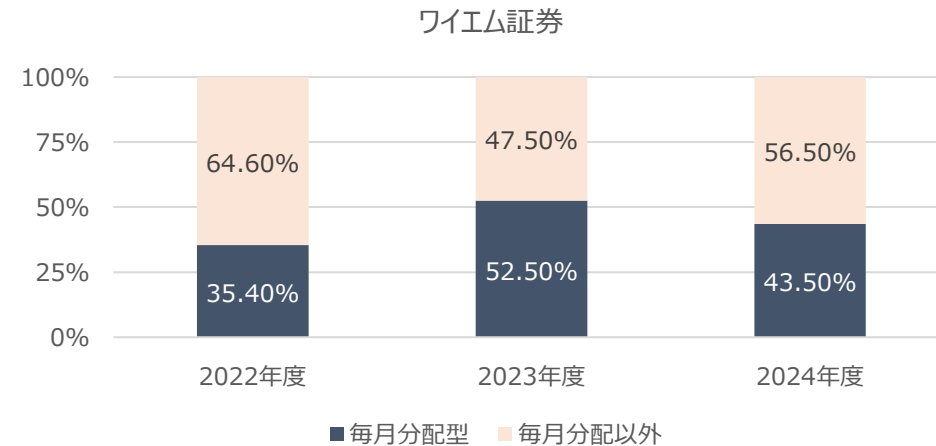
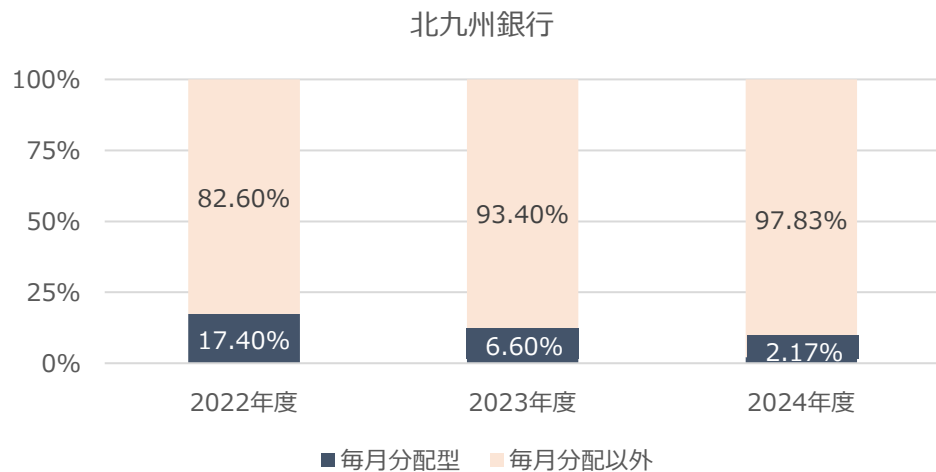
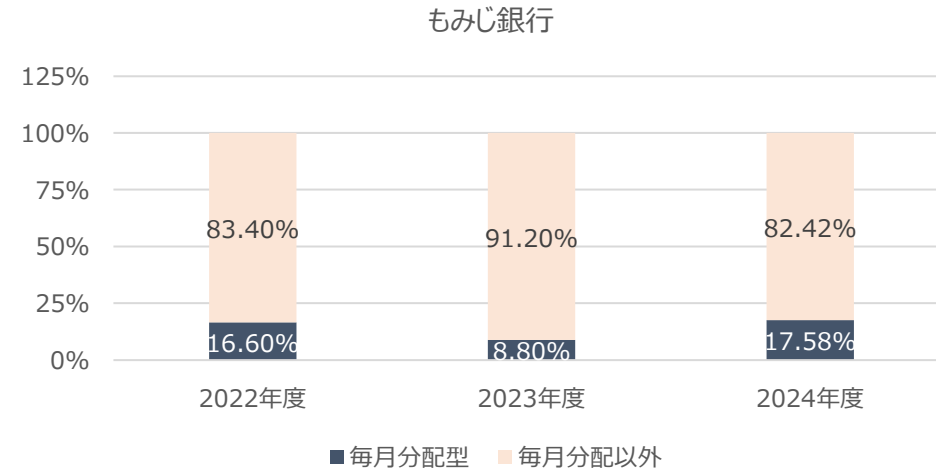
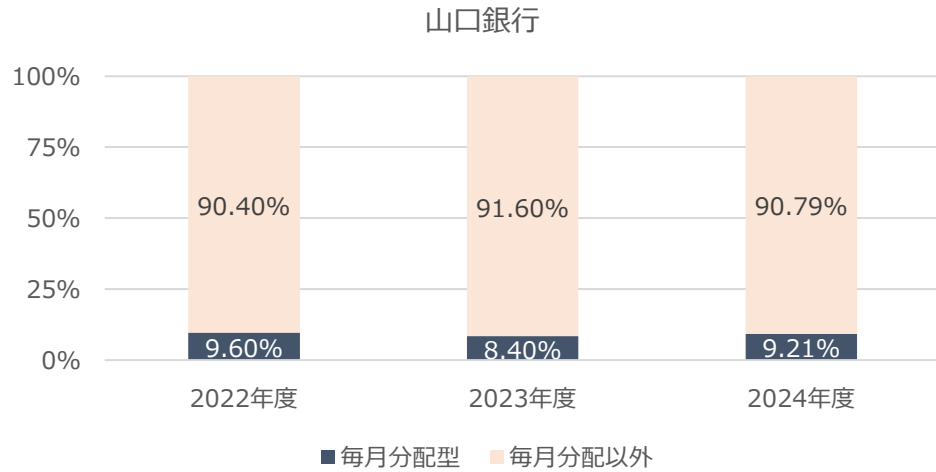


ワイエム証券



毎月分配型投資信託の販売比率

- 中長期的な資産成長のためにお客さまの目的やニーズをお聞きしたうえで、分配金の受け取りを希望されないお客さまに対しては投資効率が低下しないよう、毎月分配型以外の投資信託を推奨しております。
- 分配金の受け取りを希望されるお客さまに対しては、分配金支払の仕組み等を十分にご説明しご理解いただいたうえで、ご購入いただくよう努めてまいります。



## 商品ラインアップ（一時払保険・平準払保険）

- お客さまのニーズにお応えできるよう、ラインアップの充実に努めております。
- 商品ラインアップについては、お客さまのニーズ、同一カテゴリ類似商品比較等を踏まえて随時見直すとともに、各種資料（パンフレットや契約締結前交付書面等）を用いたわかりやすい情報提供に努めてまいります。

事業体別・カテゴリ別ラインアップ（平準払保険、2025年3月末時点）

	山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行		保険ひろば	
	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率
医療	9	23.1%	9	23.1%	9	23.1%	9	19.1%
ガン	5	12.8%	5	12.8%	5	12.8%	8	17.0%
収入保障 就業不能	2	5.1%	2	5.1%	2	5.1%	8	17.0%
年金	4	10.3%	4	10.3%	4	10.3%	4	8.5%
終身	3	7.7%	3	7.7%	3	7.7%	3	6.4%
変額	1	2.6%	1	2.6%	1	2.6%	10	21.3%
定期	14	35.9%	14	35.9%	14	35.9%	3	6.4%
学資	1	2.6%	1	2.6%	1	2.6%	2	4.3%
合計	39	100.0%	39	100.0%	39	100.0%	47	100.0%

事業体別・カテゴリ別ラインアップ（一時払保険、2025年3月末時点）

		山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行		保険ひろば	
		商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率
円建	変額年金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	定額年金	5	14.3%	5	14.3%	5	14.3%	0	0.0%
	終身	11	31.4%	11	31.4%	11	31.4%	1	20.0%
	合計	16	45.7%	16	45.7%	16	45.7%	1	20.0%
外貨建	変額年金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	定額年金	5	14.3%	5	14.3%	5	14.3%	0	0.0%
	終身	14	40.0%	14	40.0%	14	40.0%	4	80.0%
	合計	19	54.3%	19	54.3%	19	54.3%	4	80.0%
合計		35	100.0%	35	100.0%	35	100.0%	5	100.0%

※保険ひろばに関しては、推奨商品数を記載しております。

## 利益相反管理方針

- 当社グループにおける利益相反管理に関する対応方針として、内部規定である「利益相反管理規定」を公表しております。

### 1. 管理対象会社

グループ内銀行、グループ内銀行を所属銀行とする銀行代理業者および銀行関連業務・金融商品関連業務を行う当社グループ会社・関連会社とします。（以下、対象グループ会社）

### 2. 組織・管理態勢

山口フィナンシャルグループのコンプライアンス統括部を統括部署とし、統括部署の担当役員が利益相反管理統括責任者として、対象グループ会社の利益相反取引にかかる管理態勢を統括します。

### 3. 利益相反取引の定義および取引類型

利益相反取引とは、対象グループ会社とお客さまとの取引にあたりお客さまの利益を不当に害する取引、および対象グループ会社と複数のお客さまとの取引にあたりいずれかのお客さまの利益を不当に害する取引をいいます。お客さまの利益を不当に害する取引の類型は、次のとおりです。

取引類型	対象グループ会社とお客さま	お客さまと他のお客さま
利害対立型	対象グループ会社とお客さまの利害が対立する取引	対象グループ会社のお客さま同士の利害が対立する取引
競合取引型	対象グループ会社とお客さまが競合する取引	対象グループ会社のお客さま同士が競合する取引
情報利用型	対象グループ会社がお客さまとの関係を通じて取得したお客さまの情報を利用して、対象グループ会社が不当に利益を得る取引	対象グループ会社がお客さまとの関係を通じて取得したお客さまの情報を利用して、他のお客さまが不当に利益を得る取引

### 4. 管理プロセス

当社グループは、利益相反取引の未然防止を図るため、以下のとおり、適切な管理を実施します。

#### (1) 報告

対象グループ会社は、各社で発生したお客さまとの取引において利益相反のおそれがあると判断した場合は、遅滞なく統括部署に報告します。

#### (2) 特定

統括部署は、報告を受けた取引について、お客さまの利益を不当に害するか否かの観点から実質的に検討し、管理する必要のある取引を特定します。

#### (3) 管理方法

統括部署は、想定される利益相反の内容に応じて、次の管理方法を選定します。

1. お客さまとの取引を行う業務部門の情報遮断（情報共有先の制限）
2. お客さまとの取引の条件または方法の変更
3. お客さまとの取引の中止
4. 利益相反のおそれがあることのお客さまへの開示（お客さまの同意を必要とする場合があります）
5. その他お客さまの保護を適切に確保する方法

#### (4) 記録・保存

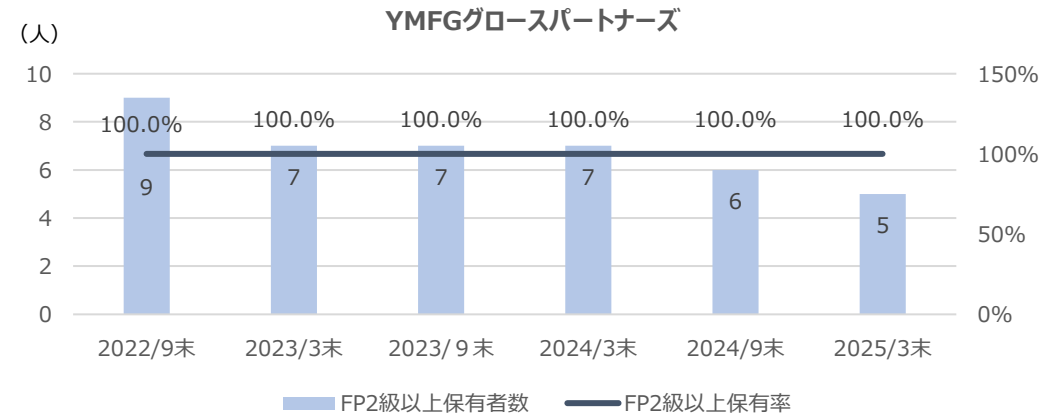
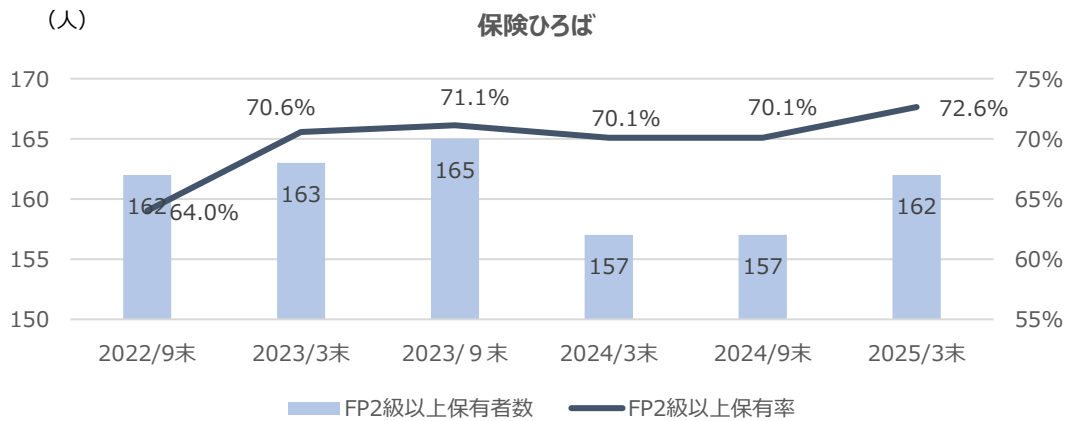
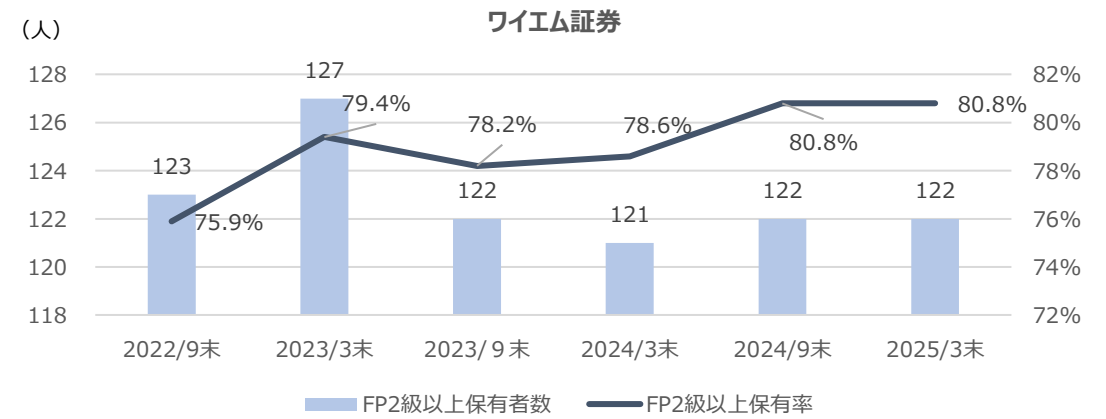
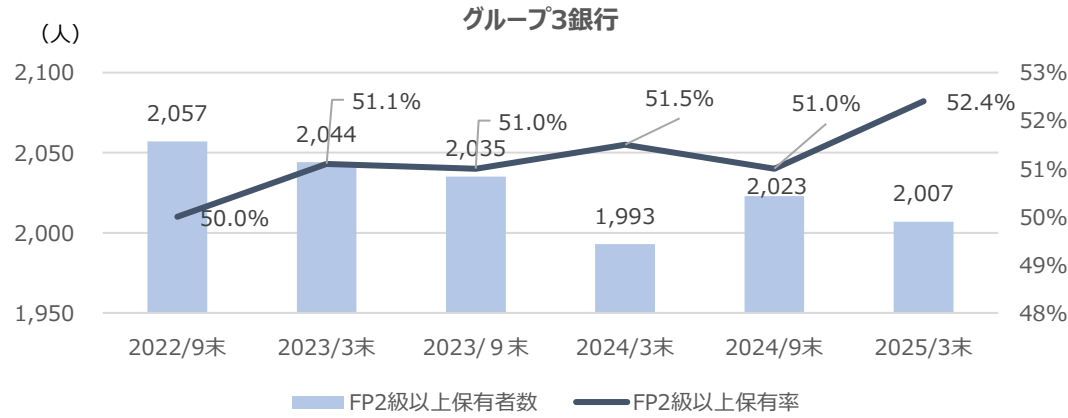
統括部署は、利益相反管理のプロセス（報告、特定および管理方法等）を適切に記録・保存します。

### 5. 教育・指導および改善活動

当社グループは、役職員に対して利益相反管理にかかる指導・研修等を継続的に実施し、利益相反管理にかかる意識の向上に努めます。

人財育成の取組（FP資格取得）

- 専門的な情報を分かりやすくお客さまに提供できる人財を育成するため、FP 1 級およびFP 2 級の資格取得を一部昇格要件に加えるなど、取得を奨励しております。
- 2025年3月末時点のFP2級以上保有率は、グループ3銀行、ワイエム証券、保険ひろばにおいて、前年同月比増加しております。
- 社員の自己啓発につながる各種研修や勉強会、休日セミナーを実施するとともに、自己啓発ツールの活用促進により、保有者の更なる増加を図ってまいります。



※YMFGグロースパートナーズについては、保有率を上限100%で記載